ハロートレーニング
さがはぜへ

能力開発セミナー実施会場



青森職業能力開発促進センター
（ポリテクセンター青森）

〒030-0822 青森県青森市中央三丁目 20 番 2 号
TEL.017-722-1771 FAX.017-777-1187
https://www3.jeed.go.jp/aomori/poly/





青森職業能力開発短期大学校
（東北能開大青森校）

〒037-0002 青森県五所川原市大字飯詰字狐野 171-2
TEL.0173-37-3201 FAX.0173-37-3203
https://www3.jeed.go.jp/aomori/college/





青森職業能力開発促進センター
八戸実習場
（八戸地域職業訓練センター内）

〒031-0001 青森県八戸市類家二丁目 7 番 40 号
TEL.0178-73-5535 FAX.0178-73-5536
https://www3.jeed.go.jp/aomori/poly/hachinohe.html



※他の会場については別途お問い合わせください。

独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構 青森支部

ポリテクセンター青森・東北能開大青森校

COURSE GUIDE

SKILLS DEVELOPMENT SEMINAR

令和 7 年度版 | 2025.04 - 2026.03 在職者のための能力開発セミナーコースガイド


プロフェッショナルへステップアップ
技術・知識の習得
ものづくりのこだわり

独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構 青森支部

青森職業能力開発促進センター
（ポリテクセンター青森）
青森職業能力開発促進センター 検索

青森職業能力開発短期大学校
（東北能力大青森校）
青森職業能力開発短期大学校 検索

令和７年度（2025/4 月～ 2026 年 3 月）

目 次

能力開発セミナーとは …… 2
能力開発セミナーのお申込みから受講まで …… 3
オーダーメイドセミナーのご案内 …… 4
能力開発セミナーコース一覧
- 機械分野コース …… 5
- 電気・電子分野コース …… 6
- マイコン技術コース／電子回路技術コース …… 7
- 施工技術コース／設備保全コース …… 8
- 管理・教育分野コース／建築分野コース …… 9

メモ …… 10
受講マップ …… 11
セミナーコース概要
- 機械分野コース …… 17
- 電気・電子分野コース …… 25
- マイコン技術コース …… 28
- 電子回路技術コース …… 30
- 施工技術コース …… 33
- 設備保全コース …… 35
- 管理・教育分野コース …… 36
- 建築コース …… 38

能力開発セミナー満足度調査 …… 42
能力開発セミナー利用者からの声 …… 43
ポリテクセンター青森、東北能開大青森校のご案内 …… 47
高度ポリテクセンターのご案内 …… 48
生産性向上支援訓練のご案内 …… 49
施設利用のご案内・講師派遣のご案内 …… 55
よくあるご質問と回答 …… 56
能力開発セミナー受講申込書 …… 57
能力開発セミナー受講者変更・取消（キャンセル）届 …… 58

能力開発セミナーとは

在職者の方を対象とした、スキルアップのためのセミナーです。社員一人一人の技術力を高めることで、技術革新、産業構造の変化、生産性向上、新分野展開など、企業が抱える様々な課題に対応できる組織としての基盤が構築されます。社員のスキルアップに向けて、本セミナーをご活用ください。

1 ものづくり分野を中心とした実践的なコースを体系的に取り揃えております。

2 短期間（2～3日程度）で現場に役立つ技能・知識の習得を目指します。

3 事業主の皆様のご要望に応じて、オーダーメイドでのセミナーも行っております。






能力開発セミナーのお申込みから受講まで

① 申込書の記入

- 「受講申込書」に必要事項をご記入いただき、メール、FAX にてお申込みください。
- 受講申込書は本ガイドの P57 をコピーしてお使いいただくか、ホームページからダウンロードしてください。
- 開始日が近くなったコースでも受付可能な場合がございますので、お問い合わせください。

【ポリテクセンター青森】
https://www3.jeed.go.jp/aomori/poly/zaishoku/index.html

【東北総開大青森校】
https://www3.jeed.go.jp/aomori/college/support/seminar.html

② 申込書の送付・受付

- コース開始日の 2 週間前までに、受講したい施設にメールまたは FA X にてお申し込みください。
- お送りいただいた「受講申込書」を受け付けましたら、受け付けした旨を電話にてご連絡いたします。
- 先着順でお申込みを受け付けます。なお、応募者多数の場合は、「キャンセル待ち」となります。（キャンセル待ちの場合は、ご連絡致します。）

③ 請求書・受講票の発送

- 開講日の約 2 週間前にお申込担当者様への受講票・請求書の送付がございます。
- 申込者数が一定に満たない場合は、中止することがありますので予めご了承ください。

④ 受講料のご入金

- 送付書類に記載の期日（土日・祝日・12 月 29 日～1 月 3 日を除く）までに指定口座にお振込ください。
- 振込手数料は、お客様のご負担となります。
- 期日までに入金できない場合には、ご連絡ください。
- 受講料には消費税が含まれております。

⑤ 受講

- コース開始日に「受講票」、「筆記用具」、「その他必要な工具等」をご持参いただき、開始時間までに直接教室へお入りください。
- 各コースの実施時間は、受講票に記載されています。
- 出席時間が当該コースの総訓練時間の 80％以上かつ 12 時間以上の出席を満たしている場合は、修了証書を交付いたします。

⑥ アンケート

- 受講者及びその事業主様へコース内容に関する満足度等についてアンケート調査を実施しています。

受講者の変更について

受講者を変更される場合は、まず表紙に記載しています各施設の連絡先にお電話にてご連絡ください。その後、本ガイド P58 の「受講者変更・取消届」に必要事項をご記入のうえ、FAX により届け出てください。

セミナーの中止・変更について

応募が一定に満たない場合等にセミナーを中止、または日程を変更することがあります。その場合、中止及び日程変更の決定は、申込締切日から数日後までに行い、お申込みされた方に連絡いたします。

受講者の取消（キャンセル）について

受講の取消（キャンセル）をされる場合は、まず、表紙に記載している各施設の連絡先に、お電話にてご連絡ください。その後、本ガイド P58 の「受講者変更・取消（キャンセル）届」に必要事項をご記入のうえ、コース開始日の 7 日前（土日・祝日・12 月 29 日～1 月 3 日を除く）[必着] までに FAX またはメールにてご連絡ください。この日を過ぎた取消や手続きがなされない場合は、受講料を全額ご負担いただくこととなります。(ただし、当センターの都合によりやむを得ず中止した場合は、返金させていただきます。)

既に受講料をお振込いただいている受講申込につきましては、コース開始日 7 日前（土日・祝日・12 月 29 日～1 月 3 日を除く）[必着] までに届け出たコースの受講料をご返金いたします。なお、受講料を振り込んだ際に生じた金融機関への振込手数料は返金いたしませんので、ご了承ください。

また、コース開始日 7 日前（土日・祝日・12 月 29 日～1 月 3 日を除く）までに届け出がない場合は、受講料の返金はいたしませんので、ご注意ください。

オーダーメイドセミナーのご案内

ポリテクセンター・職業能力開発短期大学校では、公開中の能力開発セミナーのほか、事業主や事業主団体のご要望に応じて、訓練内容・日程・時間帯を個別に相談しながら計画、実施するオーダーメイドセミナーを承っています。



オーダーメイドセミナーのメリット

1. 生産活動で抱えている課題の解決や職務内容に応じたカリキュラムが編成できます。
2. 希望する開催日等をご相談の上、訓練コースを設定できますので、計画的な人材育成が行えます。
3. 社員教育に必要な講師、機材、研修会場等のご心配が不要です。

オーダーメイドセミナー計画のポイント

1. 公開中の能力開発セミナーもオーダーメイドセミナーとして計画できます。（ご案内にないコースについても、ご相談に応じています。）
2. 会場はポリテクセンター・職業能力開発短期大学校以外の出張セミナーにも対応できます。
3. 訓練時間は、1 コース 12 時間以上です。訓練の日程や時間は、ご相談ください。
4. 費用（受講料）は、教材や諸経費を含めてご提示し ます。

セミナー実施の流れ

ご相談対応（内容、日程、受講者数等） → 実施内容のご提案 → 実施内容受講料の確認 → 受講料の請求とご入金 → セミナーの実施

機械分野コース（設計・加工・測定）

コースNo.	コース名	定員 / 訓練時間	受講料	会場 / 日程	時間帯	申込締切	頁
CM001	機械設計のための総合力学 ＜材料の機械的性質から曲げまで＞	10 名 18 時間	13,000 円	五所川原 4/23 ㊌ ,24 ㊍ ,25 ㊏	9:00 ～ 16:00	4/9 ㊋	17
CM002	精密測定技術	10 名 12 時間	10,000 円	五所川原 5/15 ㊌ ,16 ㊍	9:00 ～ 16:00	5/1 ㊋	17
CM003	フライス盤加工技術	8 名 12 時間	11,500 円	五所川原 5/22 ㊌ ,23 ㊍	9:00 ～ 16:00	5/8 ㊋	17
CM004	3 次元 CAD を活用した ソリッドモデリング技術	10 名 12 時間	8,000 円	五所川原 5/29 ㊌ ,30 ㊍	9:00 ～ 16:00	5/15 ㊋	18
PM005	精密測定技術	10 名 12 時間	11,000 円	八戸 5/29 ㊌ ,30 ㊍	9:30 ～ 16:30	5/15 ㊋	18
CM006	プラスチック射出成形技術の要点	8 名 12 時間	16,000 円	五所川原 6/10 ㊊ ,11 ㊋	9:00 ～ 16:00	5/27 ㊎	18
CM007	旋盤加工技術	10 名 18 時間	15,000 円	五所川原 6/18 ㊋ ,19 ㊌ ,20 ㊍	9:00 ～ 16:00	6/4 ㊋	19
PM008	NC 旋盤加工技術（段取り）	10 名 12 時間	10,000 円	青森 6/19 ㊌ ,20 ㊍	9:30 ～ 16:30	6/5 ㊋	19
PM009	実践機械製図	10 名 18 時間	12,000 円	八戸 6/25 ㊋ ,26 ㊌ ,27 ㊍	9:30 ～ 16:30	6/11 ㊋	19
CM010	3 次元 CAD を活用した アセンブリ技術	10 名 12 時間	8,000 円	五所川原 6/26 ㊋ ,27 ㊌	9:00 ～ 16:00	6/12 ㊋	20
CM011	NC 旋盤加工技術	6 名 18 時間	22,000 円	五所川原 7/16 ㊋ ,17 ㊌ ,18 ㊍	9:00 ～ 16:00	7/2 ㊋	20
PM012	2 次元 CAD による機械製図技術	10 名 12 時間	10,000 円	八戸 7/17 ㊌ ,18 ㊍	9:30 ～ 16:30	7/3 ㊋	20
CM013	切削加工を考慮した機械設計製図	10 名 12 時間	10,000 円	五所川原 8/21 ㊎ ,22 ㊊	9:00 ～ 16:00	8/7 ㊋	21
CM014	三次元測定技術	6 名 12 時間	13,000 円	五所川原 8/28 ㊎ ,29 ㊊	9:00 ～ 16:00	8/14 ㊋	21
PM015	実践機械製図（寸法・公差編）	10 名 18 時間	12,000 円	八戸 9/3 ㊋ ,4 ㊌ ,5 ㊍	9:30 ～ 16:30	8/20 ㊋	21
CM016	機械設計のための総合力学 ＜材料の機械的性質から曲げまで＞	10 名 18 時間	13,000 円	五所川原 9/17 ㊋ ,18 ㊌ ,19 ㊍	9:00 ～ 16:00	9/3 ㊋	17
CM017	マシニングセンタプログラミング技術	10 名 12 時間	8,000 円	五所川原 9/25 ㊋ ,26 ㊌	9:00 ～ 16:00	9/11 ㊋	22
PM018	3 次元 CAD を活用した ソリッドモデリング技術	10 名 12 時間	10,000 円	青森 9/25 ㊋ ,26 ㊌	9:30 ～ 16:30	9/11 ㊋	22
CM019	2 次元 CAD による 機械製図技術（形状作成編）	10 名 12 時間	9,000 円	五所川原 10/8 ㊍ ,9 ㊎	9:00 ～ 16:00	9/24 ㊋	22
CM020	旋盤加工応用技術	10 名 24 時間	20,000 円	五所川原 10/16 ㊍ ,17 ㊎ ,20 ㊊ ,21 ㊋	9:00 ～ 16:00	10/2 ㊋	23
PM021	3 次元 CAD を活用した アセンブリ技術	10 名 12 時間	10,000 円	青森 10/23 ㊍ ,24 ㊎	9:30 ～ 16:30	10/9 ㊋	23
PM022	NC 旋盤プログラミング技術	10 名 12 時間	10,000 円	青森 10/30 ㊋ ,31 ㊌	9:30 ～ 16:30	10/16 ㊋	23
CM023	2 次元 CAD による 機械製図技術（寸法・公差編）	10 名 12 時間	9,000 円	五所川原 11/5 ㊏ ,6 ㊐	9:00 ～ 16:00	10/22 ㊋	24
CM024	旋盤・フライス盤による 複合加工技術	8 名 30 時間	25,500 円	五所川原 11/13 ㊍ ,14 ㊎ ,19 ㊋ ,20 ㊌ ,21 ㊍	9:00 ～ 16:00	10/30 ㊋	24
CM025	工程 FMEA/FTA を活用した 製造品質向上	10 名 12 時間	15,000 円	五所川原 11/27 ㊎ ,28 ㊊	9:00 ～ 16:00	11/13 ㊋	24
CM026	切削加工を考慮した機械設計製図	10 名 12 時間	10,000 円	八戸 12/4 ㊎ ,5 ㊊	9:00 ～ 16:00	11/20 ㊋	21
CM027	精密測定技術	10 名 12 時間	10,000 円	五所川原 2/12 ㊍ ,13 ㊎	9:00 ～ 16:00	1/29 ㊋	17

（受講料・日程等は変更となる場合がございます）

電気・電子分野コース（FA 技術）

コースNo.	コース名	定員 / 訓練時間	受講料	会場 / 日程	時間帯	申込締切	頁
PD028	有接点シーケンス制御の実践技術	10 名 12 時間	8,000 円	八戸 6/4 ㊋ ,5 ㊌	9:30 ～ 16:30	5/21 ㊋	25
CD029	有接点シーケンス制御の実践技術	10 名 12 時間	8,000 円	五所川原 6/12 ㊋ ,13 ㊌	9:00 ～ 16:00	5/29 ㊋	25
CD030	PLC プログラミング技術 （汎用命令編）	10 名 12 時間	8,000 円	五所川原 6/19 ㊋ ,20 ㊌	9:00 ～ 16:00	6/5 ㊋	25
PD031	PLC プログラミング技術 （汎用命令編）	10 名 12 時間	8,000 円	八戸 6/19 ㊋ ,20 ㊌	9:30 ～ 16:30	6/5 ㊋	26
CD032	PLC プログラミング技術 （数値命令編）	10 名 12 時間	9,000 円	五所川原 7/3 ㊋ ,4 ㊌	9:00 ～ 16:00	6/19 ㊋	26
CD033	PLC による自動化制御技術 （実践命令編）	10 名 14 時間	9,000 円	五所川原 8/28 ㊎ ,29 ㊊	9:00 ～ 17:00	8/14 ㊋	26
CD034	PLC による位置決め制御技術	10 名 12 時間	8,000 円	五所川原 9/18 ㊋ ,19 ㊌	9:00 ～ 16:00	9/4 ㊋	27
CD035	有接点シーケンス制御の実践技術	10 名 12 時間	8,000 円	五所川原 10/9 ㊋ ,10 ㊌	9:00 ～ 16:00	9/25 ㊋	25
CD036	PLC プログラミング技術 （汎用命令編）	10 名 12 時間	8,000 円	五所川原 10/16 ㊋ ,17 ㊌	9:00 ～ 16:00	10/2 ㊋	25
CD037	PLC による FA ネットワーク構築技術	10 名 12 時間	8,000 円	五所川原 10/23 ㊋ ,24 ㊌	9:00 ～ 16:00	10/9 ㊋	27

（受講料・日程等は変更となる場合がございます）

マイコン技術コース

コースNo.	コース名	定員 訓練時間	受講料	会場 日程	時間帯	申込締切	頁
CE038	マイコン制御システム開発技術（H8 編）	10 名 12 時間	10,000 円	五所川原 4/10 ㊌ , 11 ㊏	9:00 ～ 16:00	3/27 ㊍	28
CE039	マイコン制御システム開発技術（Arduino Uno R4 編）	10 名 12 時間	8,000 円	五所川原 8/21 ㊍ , 22 ㊎	9:00 ～ 16:00	8/7 ㊍	28
CE040	組込み技術者のためのプログラミング（Python 編）	10 名 12 時間	10,000 円	八戸 8/28 ㊍ , 29 ㊎	9:00 ～ 16:00	8/14 ㊍	28
CE041	マイコン制御システム開発技術（Raspberry Pi Pico W 編）	10 名 12 時間	13,000 円	八戸 9/11 ㊍ , 12 ㊎	9:00 ～ 16:00	8/28 ㊍	29
CD042	マイコンによる DC ブラシ付きモータ制御技術	10 名 12 時間	8,000 円	五所川原 9/25 ㊍ , 26 ㊎	9:00 ～ 16:00	9/11 ㊍	29
CD043	マイコン制御システム開発技術（Arduino Uno R4 編）	10 名 12 時間	8,000 円	五所川原 10/9 ㊍ , 10 ㊎	9:00 ～ 16:00	9/25 ㊍	28
CD044	マイコン制御システム開発技術（Arduino Uno R4 WiFi 編）	10 名 12 時間	8,000 円	五所川原 11/13 ㊍ , 14 ㊎	9:00 ～ 16:00	10/30 ㊍	29

（受講料・日程等は変更となる場合がございます）

電子回路技術コース

コースNo.	コース名	定員 訓練時間	受講料	会場 日程	時間帯	申込締切	頁
CE045	S パラメータ解析による高周波回路技術	10 名 12 時間	10,000 円	五所川原 4/24 ㊍ , 25 ㊎	9:00 ～ 16:00	4/10 ㊍	30
CE046	基板製作に係る鉛フリーはんだ付け技術	10 名 12 時間	10,000 円	五所川原 5/8 ㊍ , 9 ㊏	9:00 ～ 16:00	4/24 ㊍	30
CE047	電子回路製作と実装技術	10 名 18 時間	25,000 円	五所川原 5/21 ㊍ , 22 ㊎ , 23 ㊏	9:00 ～ 16:00	5/7 ㊍	30
CE048	プリント基板設計技術（CR8000 編）	10 名 12 時間	10,000 円	五所川原 6/5 ㊍ , 6 ㊏	9:00 ～ 16:00	5/22 ㊍	31
CE049	電子回路のｵﾝ測技術（テスタ・オシロスコープ編）	10 名 12 時間	9,500 円	五所川原 6/19 ㊍ , 20 ㊎	9:00 ～ 16:00	6/5 ㊍	31
CE050	ディジタル回路設計技術	10 名 12 時間	9,500 円	五所川原 7/3 ㊍ , 4 ㊏	9:00 ～ 16:00	6/19 ㊍	31
CE051	トランジスタ回路の設計・評価技術	10 名 12 時間	9,500 円	五所川原 7/17 ㊍ , 18 ㊎	9:00 ～ 16:00	7/3 ㊍	32
CE052	オペアンプ回路の設計・評価技術	10 名 12 時間	10,000 円	五所川原 7/31 ㊍ , 8/1 ㊏	9:00 ～ 16:00	7/17 ㊍	32
CE053	VLAN 間ルーティング技術	10 名 12 時間	10,000 円	五所川原 9/25 ㊍ , 26 ㊎	9:00 ～ 16:00	9/11 ㊍	32

（受講料・日程等は変更となる場合がございます）

施工技術コース

コースNo.	コース名	定員 訓練時間	受講料	会場 日程	時間帯	申込締切	頁
PD054	冷媒配管の施工と空調機器据付け技術	6 名 12 時間	9,000 円	青森 4/9 ㊌ , 10 ㊍	9:30 ～ 16:30	3/26 ㊌	33
CD055	CAD による電気設備の設計技術	10 名 12 時間	7,500 円	五所川原 5/13 ㊋ , 14 ㊌	9:00 ～ 16:00	4/29 ㊋	33
PD056	冷媒配管の施工と空調機器据付け技術	6 名 12 時間	9,000 円	青森 5/29 ㊍ , 30 ㊏	9:30 ～ 16:30	5/15 ㊍	33
CD057	電気設備における積算技術	10 名 12 時間	7,500 円	五所川原 7/15 ㊋ , 16 ㊌	9:00 ～ 16:00	7/1 ㊋	33
CD058	電気設備における積算技術	10 名 12 時間	7,500 円	五所川原 10/14 ㊋ , 15 ㊌	9:00 ～ 16:00	9/30 ㊋	33
CD059	電気設備の総合的設計技術	10 名 18 時間	11,000 円	五所川原 11/13 ㊍ , 12 ㊎ , 13 ㊏	9:00 ～ 16:00	10/28 ㊋	34

（受講料・日程等は変更となる場合がございます）

設備保全コース

コースNo.	コース名	定員 訓練時間	受講料	会場 日程	時間帯	申込締切	頁
PD060	低圧電気設備の保守点検技術	10 名 12 時間	8,000 円	八戸 5/13 ㊋ , 14 ㊌	9:30 ～ 16:30	4/29 ㊋	35
PD061	低圧電気設備の保守点検技術	10 名 12 時間	8,000 円	青森 5/22 ㊍ , 23 ㊏	9:30 ～ 16:30	5/8 ㊍	35
PD062	現場のための電気保全技術	10 名 12 時間	8,000 円	八戸 6/10 ㊋ , 11 ㊌	9:30 ～ 16:30	5/27 ㊋	35
PD063	現場のための電気保全技術	10 名 12 時間	8,000 円	青森 6/26 ㊍ , 27 ㊏	9:30 ～ 16:30	6/12 ㊍	35
PM064	生産現場の機械保全技術	10 名 12 時間	10,000 円	八戸 11/27 ㊍ , 28 ㊏	9:30 ～ 16:30	11/13 ㊍	35

（受講料・日程等は変更となる場合がございます）

管理・教育分野コース（工程管理・安全管理）

コースNo.	コース名	定員 訓練時間	受講料	会場 日程	時間帯	申込締切	頁
CM065	ＱＣ７つ道具活用による製造現場における品質改善	14 名 12 時間	6,000 円	五所川原 4/17 ㈭ , 18 ㈮	9:00 ～ 16:00	4/3 ㈭	36
PM066	技能伝承のための部下・後輩指導育成	15 名 12 時間	13,500 円	青森 4/17 ㈭ , 18 ㈮	9:30 ～ 16:30	4/3 ㈭	36
CM067	SS によるムダ取り・改善の進め方	14 名 12 時間	5,000 円	五所川原 6/5 ㈭ , 6 ㈮	9:00 ～ 16:00	5/22 ㈭	36
PM068	ヒューマンエラー対策実践	15 名 12 時間	13,500 円	青森 9/11 ㈭ , 12 ㈮	9:30 ～ 16:30	8/28 ㈭	37
PM069	仕事と人を動かす現場監督者の育成	15 名 12 時間	13,500 円	青森 10/14 ㈮ , 15 ㈯	9:30 ～ 16:30	9/29 ㈬	37
PM070	成功事例から学ぶ品質の維持と向上	15 名 12 時間	13,500 円	青森 11/6 ㈭ , 7 ㈮	9:30 ～ 16:30	10/23 ㈭	37

（受講料・日程等は変更となる場合がございます）

建築分野コース

コースNo.	コース名	定員 訓練時間	受講料	会場 日程	時間帯	申込締切	頁
PH071	実践建築設計２次元 CAD 技術（コマンド操作編）	10 名 12 時間	8,000 円	青森 4/14 ㈬ , 15 ㈭	9:30 ～ 16:30	3/31 ㈬	38
PH072	実践建築設計２次元 CAD 技術（平面詳細図編）	10 名 12 時間	8,000 円	青森 4/17 ㈰ , 18 ㈪	9:30 ～ 16:30	4/3 ㈭	38
PH073	実践建築設計２次元 CAD 技術（立面図編）	10 名 12 時間	8,000 円	青森 4/21 ㈭ , 22 ㈮	9:30 ～ 16:30	4/7 ㈪	38
PH074	実践建築設計２次元 CAD 技術（構造図編）	10 名 12 時間	8,000 円	青森 4/24 ㈰ , 25 ㈪	9:30 ～ 16:30	4/10 ㈭	39
PH075	木造住宅の構造模型製作とその活用技術	8 名 12 時間	7,500 円	青森 5/13 ㈮ , 14 ㈯	9:30 ～ 16:30	4/29 ㈮	39
PH076	墨手・仕口の製作実践技術	8 名 18 時間	10,000 円	青森 5/21 ㈰ , 22 ㈪ , 23 ㈫	9:30 ～ 16:30	5/7 ㈰	39
PH077	実践的な木造軸組工法の加工・組立技術	8 名 0 時間	14,000 円	青森 7/15 ㈰ , 16 ㈪ , 17 ㈫ , 18 ㈬	9:30 ～ 16:30	7/1 ㈰	40
PH078	実践建築設計２次元 CAD 技術（コマンド操作編）	10 名 12 時間	8,000 円	青森 1/14 ㈰ , 15 ㈪	9:30 ～ 16:30	12/31 ㈰	38
PH079	実践建築設計２次元 CAD 技術（平面詳細図編）	10 名 12 時間	8,000 円	青森 1/21 ㈰ , 22 ㈪	9:30 ～ 16:30	1/7 ㈰	38
PH080	実践建築設計２次元 CAD 技術（立面図編）	10 名 12 時間	8,000 円	青森 1/28 ㈰ , 29 ㈪	9:30 ～ 16:30	1/14 ㈰	38
PH081	実践建築設計２次元 CAD 技術（構造図編）	10 名 12 時間	8,000 円	青森 2/4 ㈰ , 5 ㈪	9:30 ～ 16:30	1/21 ㈰	39

（受講料・日程等は変更となる場合がございます）

MEMO

ご不明な点がございましたら、
お気軽にお問い合わせください！



コース番号が P から始まるセミナー

青森職業能力開発促進センター

017-722-1771

017-777-1187

コース番号が C から始まるセミナー

青森職業能力開発短期大学校

0173-37-3201

0173-37-3203

受講マップ ｜ 機械分野

設計・開発技術

● 設計に役立つ知識・技術を習得したい

設計に関する知識
機械設計のための総合力学
<材料の機械的性質から曲げまで>

材料に関する知識
- 鉄鋼材料の熱処理技術 → 材料物性評価技術
- 金属材料の理論と実際

● 機械製図を理解したい

実践機械製図 → 2次元 CAD による機械製図技術

切削加工を考慮した機械設計製図 → 2次元 CAD による機械設計技術

● 機械製図技術を習得したい

3次元 CAD
- 3次元 CAD を活用したソリッドモデリング技術 → 3次元 CAD を活用したサーフェスモデリング技術 → 3次元 CAD を活用したアセンブリ技術

加工技術

● フライス盤に関する知識・技術を習得したい

フライス加工のテクニックを習得したい
フライス盤加工技術 → フライス盤加工応用技術 → 旋盤・フライス盤による複合加工技術

知っておきたい知識・技術
フライス加工の理論と実際

● 旋盤に関する知識・技術を習得したい

旋盤加工のテクニックを習得したい
- 旋盤加工技術 → 旋盤加工応用技術 → 旋盤・フライス盤による複合加工技術
- 旋盤によるねじ切り加工技術

知っておきたい知識・技術
- 旋削加工の理論と実際
- 旋盤の加工精度におけるトラブル対策
- 旋盤作業における熟練技術の継承

受講マップ ｜ 機械分野

加工技術

● CAM・マシニングセンタに関する知識・技術を習得したい

- マシニングセンタプログラミング技術
- マシニングセンタ加工技術
- CAM 技術

知っておきたい加工処理
穴加工における切りくず処理の問題解決

● NC 旋盤加工に関する知識・技術を習得したい

プログラミング技術を習得したい
- NC 旋盤プログラミング技術
- カスタムマクロによる NC プログラミング技術

加工のテクニックを習得したい
- NC 旋盤加工技術
- ターニングセンタ複合加工技術

知っておきたい加工処理
- 切削加工における切削油剤の効果とその選び方
- 旋削加工におけるびびりの原因と対策

● レーザー加工・放電加工に関する知識・技術を習得したい

- レーザー加工技術
- 精密ワイヤ放電加工技術

● 加工物の仕上げに関する知識・技術を習得したい

- バリ取り・抑制技術
- 切りくず処理の問題解決

● 材料処理に関する知識・技術を習得したい

- 鉄鋼材料の熱処理技術
- 金属材料の腐食対策
- 金属材料の損傷対策

測定・検査

● 測定・検査に関する知識・技術を習得したい

寸法・形状の測定
- 精密測定技術 → 三次元測定技術 → 最大実体公差方式の測定技術
- 幾何公差の解釈と測定技術
- 幾何公差の解釈と活用演習

温度の測定
- 熱電対による温度計測技術

振動の測定
- 機械の振動計測と対策技術
- アコースティックエミッション応用技術

シーケンス（PLC）制御技術

● シーケンス制御技術を習得したい

有接点シーケンス制御
- 有接点シーケンス制御の実践技術
- シーケンス制御による電動機制御技術

インバータ制御
- PLCによるインバータ制御技術
- 電動機のインバータ活用技術

産業用ロボット制御
- 産業用ロボット活用技術（基本動作プログラム編）
- 産業用ロボット活用技術（外部機器制御プログラム編）

PLC制御
- PLCプログラミング技術（汎用命令編）
- PLCプログラミング技術（数値命令編）
- PLCによる自動化制御技術（実践命令編）
- PLCによる電気空気圧技術
- PLCによるFAセンサ活用技術
- PLCによる通信システム構築技術
- 生産設備の制御技術と保守管理
- PLCによるタッチパネル活用技術
- PLCによるFAネットワーク構築技術
- PLCによる位置決め制御技術
- PLC制御の応用技術
- PLCによるサーボモータ制御の実務
- PLCによる電動機制御の実務
- PLC制御の回路技術

設計・開発技術

● マイコン制御技術を習得したい

マイコン開発についての理解
- 組込み技術者のためのプログラミング(Python 編)
- マイコン制御システム開発技術（Raspberry Pi Pico W 編）
- マイコン制御システム開発技術（Arduino 編）
- マイコン制御システム開発技術（HB 編）
- マイコン制御システム開発技術（オブジェクト指向プログラミング編）
- マイコン制御システム開発技術（Arduino データ通信編）

マイコンを用いた計測
- マイコンによる計測データ処理技術

マイコンを用いたモータ制御
- マイコンによるDCブラシ付きモータ制御技術

● 組み込みシステム設計・開発技術を習得したい
- 組込み技術者のためのプログラミング(Python 編)
- マイコン制御システム開発技術（Raspberry Pi Pico W 編）
- センサを活用したIoTアプリケーション開発技術

● 通信・ネットワークに関する技術を理解したい
- VLAN 間ルーティング技術
- 組込み Linux による TCP/IP 通信システム構築

● 電気図面をCADで描きたい
- 電気設備の CAD 設計技術

設計・開発技術

知っておきたい計測技術
- 電子回路の計測技術（テスタ・オシロスコープ編）

● 実装技術を習得したい
- 基板製作に係る鉛フリーはんだ付け技術

基板
- プリント基板設計技術（CR8000 編）
- 電子回路製作と実装技術

● 回路設計・開発技術を理解したい

ディジタル回路
- ディジタル回路設計技術
- HDLによる回路設計技術（ディジタル回路設計 VHDL 編）

アナログ回路
- トランジスタ回路の設計・評価技術
- オペアンプ回路の設計・評価技術
- Sパラメータ解析による高周波回路技術
- 回路シミュレータで広がる電子回路設計技術
- シミュレータを利用したアナログ回路設計技術
- センサ回路の設計技術

測定

計測機器の活用技術
- 電子回路の計測技術（テスタ・オシロスコープ編）

計測制御システムの設計技術
- アナログ入出力ボードを活用した計測制御技術
- 自動計測システムによるデータ集録技術
- マイコンによる計測データ処理技術
- 表計算ソフトを活用したデータ通信プログラミング

施工技術

● 電気設備の積算技術を理解したい
- 冷媒配管の施工と空調機器据え付け技術
- CADによる電気設備の設計技術
- 電気設備の総合的設計技術
- 実習で学ぶ住宅電気設備技術
- 電気設備における積算技術

受講マップ ｜ 保全分野

機械系保全

● 機械保全に関する知識・技術を習得したい

- 生産現場の機械保全技術 → 伝動装置の機械保全技術

空気圧機器
- 空気圧機器の選定技術
- 空気圧機器の保全管理とトラブル対策

油圧機器
- 油圧ポンプの保全
- 油圧システムの保全技術

生産設備
- 生産設備管理技術
- 生産設備の制御技術と保守管理

知っておきたい知識・技術
- アコースティックエミッション応用技術

電機系保全

● 電気保全を習得したい
- 低圧電気設備の保守点検技術
- 現場のための電気保全技術

● 自動化設備保全を習得したい
- 生産設備の制御技術と保守管理

● 電気設備技術を理解したい
- 自家用電気工作物の高圧機器技術

受講マップ ｜ 管理・教育分野

管理・教育

● 現場改善に関する知識・技術を習得したい
- 現場の問題予兆・対処能力向上
- ヒューマンエラー対策実践
- 生産現場における品質改善技法
- 5S によるムダ取り・改善の進め方
- 成功事例から学ぶ品質の維持と向上
- QCT 7道具活用による製造現場における品質改善・品質保証

● 従業員教育に関する知識・技術を習得したい
- 技能継承と生産性向上のための OJT 指導者育成
- 仕事と人を動かす現場監督者の育成
- 技能伝承のための部下・後輩指導育成

受講マップ ｜ 建築分野

設計・開発

基礎技術
- 木造住宅の基本計画技術

構造力学
- 木造住宅における壁量計算技術
- 木造住宅の開取りと架構設計技術

プランニング
- バリアフリー住宅の設計実践技術

性能評価／環境配慮
- 省エネルギー住宅及び低炭素建築物の計画実践技術
- 欠陥住宅判例にみる技術的問題と予防法実践技術

- 木造住宅の構造模型製作とその活用技術

加工・組立

木材加工
- 継手・仕口の製作実践技術
- 筋木・振垂木の施工実践技術

- 実践建築設計 2 次元 CAD 技術（コマンド操作編）
- 実践建築設計 2 次元 CAD 技術（平面図編）

工事・施工

測量
- ドローンを活用した測量実践技術

- 実践建築設計 2 次元 CAD 技術（平面詳細図編）
- 実践建築設計 2 次元 CAD 技術（立面図編）

施工図
- 実践建築設計 2 次元 CAD 技術（ 構造図編）
- 施工図作成実践技術

- 実践建築設計 3 次元 CAD 技術

検査

診断
- 既存住宅におけるインスペクション実践技術
- 木造住宅における耐震診断技術

性能評価／環境配慮
- 建築物の環境配慮計画・評価技術

MEMO

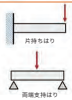


機械設計のための総合力学＜材料の機械的性質から曲げまで＞

コース番号	実施日	時間	受講料	定員	開催場所
CM001	4/23 ㊍ , 24 ㊍ , 25 ㊎	9:00 ～ 16:00	13,000 円	10 名	東北能開大青森校
CM016	9/17 ㊍ , 18 ㊍ , 19 ㊎	9:00 ～ 16:00	13,000 円	10 名	東北能開大青森校

概要
機械設計／機械製図の新たな品質及び製品の創造をめざして、高付加価値化に向けた機械の力学や材料の強度設計、また機械要素設計の詳細設計に必要な力学について習得します。

コース内容
1．コース概要と留意事項
2．強度設計の重要性
3．機械の力学
　①仕事と動力
　②ニュートンの運動の法則
4．材料の静的強度設計
　①材料の機械的特性（応力とひずみ）
　②応力とモーメント
5．機械要素設計
6．まとめ



持参品
筆記用具、関数電卓

使用機器
3 次元 CAD システム、ひずみゲージ、測定機器

精密測定技術

コース番号	実施日	時間	受講料	定員	開催場所
CM002	5/15 ㊍ , 16 ㊎	9:00 ～ 16:00	10,000 円	10 名	東北能開大青森校
CM027	2/12 ㊍ , 13 ㊎	9:00 ～ 16:00	10,000 円	10 名	東北能開大青森校

概要
測定作業の生産性向上をめざして、適正化に向けた測定実習を通して、測定器の定期検査方法を含めた正しい取り扱いと、測定方法、データ活用、誤差要因とその対処に必要な技能・技術を習得します。

コース内容
1．コースの概要及び留意事項
2．測定の重要性
3．長さ測定実習
　①測定と計測について
　②測定の重要性
3．長さ測定実習
　①測定誤差の原因と対策
　②測定器の精度と特性
　③各種測定器での測定実習
4．まとめ



持参品
筆記用具

使用機器
ノギス、マイクロメータ、ダイヤルゲージ、ブロックゲージ、定盤

フライス盤加工技術

コース番号	実施日	時間	受講料	定員	開催場所
CM003	5/22 ㊍ , 23 ㊎	9:00 ～ 16:00	11,500 円	8 名	東北能開大青森校

概要
汎用機械加工の生産性の向上をめざして、効率化、最適化（改善）、安全性向上に向けた加工実習を通して、加工方法の検討や段取り等、実践的なフライス作業に関する技能・技術を習得します。

コース内容
1．コース概要及び留意事項
2．フライス盤加工
　①切削条件の設定
3．総合課題実習
　①生産現場に密着した課題の提示
　（六面体加工・段付け加工・溝加工）
　②加工工程の検討・作成
　③最適加工方法についての討議
　④課題加工実習
4．まとめ
　①講評・評価



持参品
筆記用具、作業服、安全帽、安全靴、保護メガネ、電卓

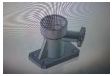
使用機器
フライス盤（SHIZUOKA SV-SV-WⅡ）、各種工具、各種測定機器

3 次元 CAD を活用したソリッドモデリング技術

コース番号	実施日	時間	受講料	定員	開催場所
CM004	5/29 ㊍ , 30 ㊎	9:00 ～ 16:00	8,000 円	10 名	東北能開大青森校

概要
効率化、最適化（改善）に向けたモデリング実習を通して、ソリッドモデル作成のポイントについて理解し、高品質な CAD データ作成方法を習得します。

コース内容
1．コース概要及び留意事項
2．設計とは
3．3 次元 CAD の概要
　①スケッチ（2 次元作図、寸法・幾何拘束）
　②立体化（押し出し・回転・ロフト・スウィープ）
　③各種編集コマンド
　④図面作成
4．モデリング時のポイント
5．総合演習
6．まとめ



持参品
筆記用具

使用機器
3 次元 CAD システム（SolidWorks2018）、関数電卓

精密測定技術

コース番号	実施日	時間	受講料	定員	開催場所
PM005	5/29 ㊍ , 30 ㊎	9:30 ～ 16:30	11,000 円	10 名	八戸インテリジェントプラザ

概要
測定作業の生産性向上をめざして、適正化に向けた測定実習を通して、精密で信頼性の高い測定を行うための理論を学び、測定器の正しい取り扱いと、測定方法、データ活用、誤差要因とその対処に必要な技能・技術を習得します。

コース内容
1．コースの概要及び留意事項
2．測定の重要性
　①測定と計測について
　②測定の重要性
3．長さ測定実習
　①測定誤差の原因と対策
　②測定器の精度と特性
　③マイクロメータ、デジタルマイクロメータ、ノギス、ハイトゲージ、てこ式ダイヤルゲージでの測定
4．まとめ



持参品
筆記用具

使用機器
ノギス、マイクロメータ、ダイヤルゲージ、ブロックゲージ、定盤

プラスチック射出成形技術の要点 NEW!

コース番号	実施日	時間	受講料	定員	開催場所
CM006	6/10 ㊋ , 11 ㊍	9:00 ～ 16:00	16,000 円	8 名	東北能開大青森校

概要
アクリル金型模型の観察等を通して射出成形に関する原理・原則などの理解を深めます。射出成形実習や成形不良サンプルなどを観察することで、成形条件の出し方や成形品不良品対策に必要な知識や技術を習得します。

コース内容
1．射出成形の概要（成形材料（プラスチック））
2．金型の機能と構造（金型模型の観察）
　①射出成形金型の種類と特徴
　②金型に求められる機能
　③金型の基本構造について
3．金型に求められる要素
4．射出成形と成形条件
　①成形機の概要（成形条件、成形不良と対策）
　②計量値と型締力の算出（ショートショット法、ゲートシール時間、保圧と寸法の関係）
5．成形実習



持参品
筆記用具

使用機器
電気式射出成形機（日精樹脂工業 NEX80）

旋盤加工技術

コース番号	実施日	時間	受講料	定員	開催場所
CM007	6/18㊍, 19㊍, 20㊎	9:00～16:00	15,000円	10名	東北能開大青森校

概要
汎用機械加工の生産性の向上をめざして、効率化、最適化（改善）、安全性向上に向けた加工実習を通して、加工方法の検討や段取り等、旋盤作業に関する技能・技術を習得します。

コース内容
1．コース概要及び留意事項
2．旋盤加工
　①旋盤の操作・取扱い
　②切削条件の設定
　③工具（刃物）の取り付け
3．総合課題実習
　①加工工程の検討・作成
　②課題加工実習
　③測定・評価と改善
4．まとめ



持参品
筆記用具、作業着、安全帽、安全靴

使用機器
普通旋盤（DMG森精機 LEO－80A）

NC旋盤加工技術（段取り）

コース番号	実施日	時間	受講料	定員	開催場所
PM008	6/19㊍, 20㊎	9:30～16:30	10,000円	10名	青森職業能力開発促進センター

概要
ＮＣ機械加工の生産性の向上をめざして、効率化、最適化（改善）に向けたテーマを持った加工課題実習を通じて、ツーリングや治具・取付具、各種工具等に関する知識、加工精度に影響する諸要因や各種加工のための段取り作業に役立つ技能・技術を習得します。

コース内容
1．コース概要及び留意事項
2．加工機の仕様
3．ツーリング
　①ホルダの種類と特徴（作業性・精度・価格等）
　②チップの種類と精度
　③工具材種と被削材への適正
4．取付具
5．検証作業
　①実加工及び測定・評価
6．まとめ



持参品
筆記用具

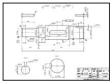
使用機器
NC旋盤（TAKISAWA TCN-2000 L6）、電卓

実践機械製図

コース番号	実施日	時間	受講料	定員	開催場所
PM009	6/25㊍, 26㊍, 27㊎	9:30～16:30	12,000円	10名	八戸インテリジェントプラザ

概要
機械設計・機械製図の現場力強化及び技能継承をめざして、技能高度化に向けた設計現場で求められる機械製図の組立図及び部品図に関する総合的かつ実践的な知識、技能を実習を通して習得します。

コース内容
1．コース概要及び留意事項
2．製図一般と機械製図上の留意事項
　①寸法記入法
　②公差記入法とはめあい
　③幾何公差と表面性状
3．実践的設計図面の描き方
　①製図事例
　②部品図の作成
4．製図総合課題
5．まとめ



持参品
筆記用具

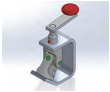
使用機器
製図機器、製図用具一式、各種機械部品
図面※２次元CADは使用しませんのでご注意ください。

3次元CADを活用したアセンブリ技術

コース番号	実施日	時間	受講料	定員	開催場所
CM010	6/26㊍, 27㊎	9:00～16:00	8,000円	10名	東北能開大青森校

概要
効率化、最適化（改善）に向けたアセンブリ実習を通して、アセンブリのポイントについて理解し、アセンブリ技術を習得します。

コース内容
1．コース概要及び留意事項
2．ソリッドモデリング
3．アセンブリの基本
　①ボトムアップアセンブリ
　②各種合数
　③干渉チェック
　④サブアセンブリ
4．様々なアセンブリ手法
5．モーション設定
6．まとめ



持参品
筆記用具

使用機器
3次元CADシステム（SolidWorks2018）、関数電卓

NC旋盤加工技術

コース番号	実施日	時間	受講料	定員	開催場所
CM011	7/16㊍, 17㊍, 18㊎	9:00～16:00	22,000円	6名	東北能開大青森校

概要
効率化、最適化（改善）に向けたテーマを持った加工課題実習を通じて、ツーリングや治具・取付具、各種工具等に関する知識、加工精度に影響する諸要因や各種加工のための段取り作業のポイント等、技能・技術を習得します。

コース内容
1．コース概要及び留意事項
2．段取り作業のポイント
3．プログラミング時間の短縮
4．加工課題実習
　①工程検討
　②段取り作業
　③プログラム修正
　④実加工及び測定
5．改善のための確認・評価
6．まとめ



持参品
筆記用具、作業服、安全靴、帽子

使用機器
NC旋盤、各種切削工具、測定機器

2次元CADによる機械製図技術

コース番号	実施日	時間	受講料	定員	開催場所
PM012	7/17㊍, 18㊎	9:30～16:30	10,000円	10名	八戸インテリジェントプラザ

概要
機械設計・機械製図の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化（改善）に向けた構想段階から具体的加工の指示を出すための図面の作図を通して、効果的かつ効率的使用法及びデータ管理方法について習得します。

コース内容
1．コースの概要及び留意事項
2．構想から図面への考え方と機械製図の留意事項
3．製図効率を向上させるための準備
4．実践課題
　①外形の作図
　②寸法、サイズ公差の記入
　③幾何公差の記入
　④表面粗さの記入
　⑤総合演習問題
5．まとめ



持参品
筆記用具

使用機器
各種機械部品図面、AutoCAD2024

切削加工を考慮した機械設計製図

コース番号	実施日	時間	受講料	定員	開催場所
CM013	8/21 ㊍ , 22 ㊎	9:00 ～ 16:00	10,000 円	10 名	東北能開大青森校
CM026	12/4 ㊍ , 5 ㊎	9:00 ～ 16:00	10,000 円	10 名	青森職業能力開発促進センター八戸実習場

概要
効率化、適正化、最適化（改善）、安全性向上に向けた工作機械・加工法に関する理解を深め、加工現場からのクレームを通して問題点を把握し、切削加工現場に適した機械設計製図技術を習得します。

コース内容
1．コース概要と留意事項
2．機械製図概要
　①機械製図規格の確認
3．製品と図面
　①図面から製品形状の把握
4．加工を意識した設計製図
　①工作機械と工作法
　②加工から学ぶ設計製図
　③加工を考慮した設計製図
5．まとめ



持参品
筆記用具

使用機器
パソコン、プロジェクタ、プレゼンテーションソフト、ホワイトボード

三次元測定技術

コース番号	実施日	時間	受講料	定員	開催場所
CM014	8/28 ㊍ , 29 ㊎	9:00 ～ 16:00	13,000 円	6 名	東北能開大青森校

概要
測定作業の生産性の向上を目指し効率化、最適化（改善）に向けた測定実習を通して、測定結果の信頼性を判断できる能力、生産活動に見合った測定品質（測定点数や測定位置等）の改善に関する技能・技術を習得します。

コース内容
1．コース概要及び留意事項
2．三次元測定機の特徴
3．三次元測定実習
　①プローブの選択、校正の注意点
　②座標系設定における留意点と効率化
　③測定のポイントと効率化
4．製品の測定
　①各機能を利用した効率的な測定方法の検討、ワークサンプルを使った測定実習
5．測定の評価と改善
6．まとめ



持参品
筆記用具

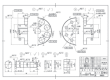
使用機器
三次元測定機（東京精密 XYZAX AXCEL 7/5/5 RDS）

実践機械製図（寸法・公差編）

コース番号	実施日	時間	受講料	定員	開催場所
PM015	9/3 ㊍ , 4 ㊍ , 5 ㊎	9:30 ～ 16:30	12,000 円	10 名	八戸インテリジェントプラザ

概要
機械設計・機械製図の現場力強化及び技能継承をめざして、技能高度化に向けた設計現場で求められる機械製図の組立図及び部品図に関する総合的かつ実践的な知識、技能を実習を通して習得します。

コース内容
1．コース概要及び留意事項
2．寸法記入
　①公差等級と基本公差
　②はめ合い方式
　③寸法許容差とその見方
3．幾何公差
　①幾何公差の種類と記号
　②幾何公差の適用
4．表面性状
5．まとめ



持参品
筆記用具

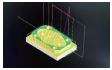
使用機器
製図機器、製図用具一式、各種機械部品
図面※２次元 CAD は使用しませんのでご注意ください。

マシニングセンタプログラミング技術

コース番号	実施日	時間	受講料	定員	開催場所
CM017	9/25 ㊍ , 26 ㊎	9:00 ～ 16:00	8,000 円	10 名	東北能開大青森校

概要
ＮＣ機械加工の生産性の向上をめざして、工程の最適化（改善）に向けたプログラミング課題実習とプログラムの検証を通じて、要求される条件を満足するためのプログラム、工具補正の設定法などマシニングセンタ作業に関する技術を習得します。

コース内容
1．コース概要及び留意事項
2．各種機能とプログラム作成方法
　①各種コードの説明
　②工具径補正
　③工具長補正
　④サブプログラム
　⑤固定サイクル
3．プログラミング課題実習
4．プログラムの検証と評価
5．まとめ



持参品
筆記用具

使用機器
マシニングセンタ（Mazak FJV-250Ⅲ）、各種切削工具、測定機器

3 次元 CAD を活用したソリッドモデリング技術

コース番号	実施日	時間	受講料	定員	開催場所
PM018	9/25 ㊍ , 26 ㊎	9:30 ～ 16:30	10,000 円	10 名	青森職業能力開発促進センター

概要
製品設計業務における生産性の向上をめざして、効率化、最適化（改善）に向けたモデリング実習を通して、ソリッドモデル作成のポイントについて理解し、高品質な CAD データ作成方法を習得します。

コース内容
1．コース概要及び留意事項
2．設計と３次元 CAD の概要
3．モデリング時のポイント
　①スケッチ環境とスケッチのポイント
　②寸法拘束
　③幾何拘束
　④フィーチャ作成
　⑤パラメータ編集
4．総合演習
5．まとめ



持参品
筆記用具

使用機器
3 次元 CAD システム（SolidWorks2024）、関数電卓

2 次元 CAD による機械製図技術（形状作成編）

コース番号	実施日	時間	受講料	定員	開催場所
CM019	10/8 ㊍ , 9 ㊍	9:00 ～ 16:00	9,000 円	10 名	東北能開大青森校

概要
効率化、適正化、最適化（改善）に向けた構想段階から具体的加工の指示を出すための図面の作図を通して、CAD を使用する場合の環境の構築、効果的かつ効率的使用法及びデータ管理方法について習得します。

コース内容
1．コースの概要及び留意事項
2．構想から図面への考え方
3．機械製図の留意事項
4．製図効率を向上させるための準備
　①基本構想段階での CAD 機能の活用
　②詳細設計段階での CAD 機能の活用
5．実践課題
　①形状作成課題
　②総合演習課題
6．まとめ



持参品
筆記用具

使用機器
2 次元 CAD システム（AUTOCAD2021）

旋盤加工応用技術

コース番号	実施日	時間	受講料	定員	開催場所
CM020	10/16 ㊍ , 17 ㊎ , 20 ㊊ , 21 ㊋	9:00 ～ 16:00	20,000 円	10 名	東北能開大青森校

概要
汎用機械加工の現場力強化をめざして、技能高度化に向けた加工実習を通して、加工方法の検討や段取り等、実践的な旋盤作業に関します問題解決能力を習得します。

コース内容
1．コースの概要及び留意事項
2．各種加工法
　①ねじ加工
　②テーパ加工
3．総合課題実習（複雑形状部品）
　①加工工程の検討・作成
　②課題加工実習
　③測定・評価
4．成果発表
5．まとめ



持参品
筆記用具、作業着、安全帽、安全靴

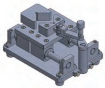
使用機器
普通旋盤（DMG 森精機 LEO-80A）

3 次元 CAD を活用したアセンブリ技術 DX対応コース

コース番号	実施日	時間	受講料	定員	開催場所
PM021	10/23 ㊍ , 24 ㊎	9:30 ～ 16:30	10,000 円	10 名	青森職業能力開発促進センター

概要
機械設計の新たな品質の創造又は製品を生み出すことをめざして、高付加価値化に向けたアセンブリ機能を活用した検証実習を通して設計検討項目の検証方法を習得します。

コース内容
1．コースの概要及び留意事項
2．設計とアセンブリ３ヶ条
3．検証ツールとアセンブリ３ヶ条
　①アセンブリの基準とサブアセンブリ基準の関係
　②ボトムアップアセンブリとトップダウンアセンブリ
　③実習問題
4．検証作業
　①アセンブリ機能を活用した検証方法
　（干渉チェック、重心チェック）
　②図面を活用した検証方法
5．まとめ



持参品
筆記用具

使用機器
3 次元 CAD システム（Solid Works2024）、関数電卓

NC 旋盤プログラミング技術

コース番号	実施日	時間	受講料	定員	開催場所
PM022	10/30 ㊍ , 31 ㊎	9:30 ～ 16:30	10,000 円	10 名	青森職業能力開発促進センター

概要
NC 機械加工の生産性向上をめざして、工程の最適化（改善）に向けたプログラミング課題実習とプログラムの検証を通じて、要求される条件を満足するためのプログラミング技術を習得します。

コース内容
1．コース概要及び留意事項
2．各種機能とプログラム作成方法
　①主軸・送り・工具・準備・補助機能
　②荒加工用プログラム、仕上げ加工用プログラム作成方法及び注意点
　③固定サイクル
3．プログラミング課題実習
　①表面粗さ、幾何公差、加工精度等
　②加工工程の検討
4．プログラムの検証と評価
5．まとめ



持参品
筆記用具

使用機器
NC 旋盤（TAKISAWA TCN-2000 L6）、電卓

2 次元 CAD による機械製図技術（寸法・公差編）

コース番号	実施日	時間	受講料	定員	開催場所
CM023	11/5 ㊍ , 6 ㊍	9:00 ～ 16:00	9,000 円	10 名	東北能開大青森校

概要
効率化、適正化、最適化（改善）に向けた構想段階から具体的加工の指示を出すための図面の作図を通して、CAD を使用する場合の環境の構築、効果的かつ効率的使用法及びデータ管理方法について習得します。

コース内容
1．コースの概要及び留意事項
2．構想から図面への考え方
3．機械製図の留意事項
4．製図効率を向上させるための準備
　①基本構想段階での CAD 機能の活用
　②詳細設計段階での CAD 機能の活用
5．実践課題
　①寸法・公差作成課題
　②総合演習課題
6．まとめ



持参品
筆記用具

使用機器
2 次元 CAD システム（AUTOCAD2021）

旋盤・フライス盤による複合加工技術

コース番号	実施日	時間	受講料	定員	開催場所
CM024	11/13 ㊍ , 14 ㊎ , 19 ㊍ , 20 ㊍ , 21 ㊎	9:00 ～ 16:00	25,500 円	8 名	東北能開大青森校

概要
汎用機械加工の現場力強化をめざして、部品加工・組立実習を通して、寸法・形状精度や切削理論を理解し、高精度な部品の工程検討や旋削・フライス加工の加工技術等、複合加工の実践的な技能・技術を習得します。

コース内容
1．コース概要と留意事項
2．寸法公差と幾何公差
3．切削理論及び加工技術
4．課題図面の検討
　①加工工程の検討
5．旋盤・フライス盤による部品加工
6．部品組み立て及び検査
　①総合評価と問題点の討議
※旋盤・フライス盤のどちらかの基本知識がある方もしくは以下のセミナーを事前に受講した方を推奨します。
CM003（フライス盤加工技術）・CM007（旋盤加工技術）



持参品
筆記用具、作業服、安全帽、安全靴、保護メガネ、電卓

使用機器
旋盤（DMG 森精機 LEO-80A）、フライス盤（SHIZUOKA SV-SV-WII）、各種工具、各種測定機器

工程 FMEA/FTA を活用した製造品質向上 NEW!

コース番号	実施日	時間	受講料	定員	開催場所
CM025	11/27 ㊍ , 28 ㊎	9:00 ～ 16:00	15,000 円	10 名	東北能開大青森校

概要
品質管理の生産性向上をめざして、効率化、適正化、最適化（改善）、安全性向上に向けた製品の信頼性・安全性向上のための工程 FMEA ／ FTA 活用実習を通して、新たな品質の創造が出来る能力を習得します。

コース内容
1．コース概要及び留意事項
2．工程管理と品質管理の概要
　①工程管理の目的、工程管理の手法と工程管理表
　②工程管理の実施、品質管理、品質保証、品質改善（問題解決）
3．工程 FMEA の概要
　①故障解析における工程 FMEA ／ FTA の位置づけ
　②発生工程対策のための解析法
4．FTA の概要
5．工程 FMEA ／ FTA の活用実習
6．まとめ



持参品
筆記用具

使用機器
パソコン

有接点シーケンス制御の実践技術

コース番号	実施日	時間	受講料	定員	開催場所
PD028	6/4 ㊍ , 5 ㊎	9:30 ～ 16:30	8,000 円	10 名	青森職業能力開発促進センター八戸実習場

概要

幅広い産業機器に用いられているシーケンス制御方法をスイッチや電磁継電器、負荷を用いた実習機材を通して、機器の動作制御、展開接続図、配線方法、点検方法の知識・技能を習得します。

コース内容

1. コース概要及び留意事項
2. 各種制御機器の概要
   ①操作機器、表示機器、検出機器
   ②過電流保護装置
   ③限流継電器
   ④各種継電器
3. シーケンス図とタイムチャート
   ①シーケンス図とタイムチャートの読み方
   ②シーケンス図とタイムチャートの書き方
4. 有接点シーケンス実習



持参品

筆記用具

使用機器

シーケンス実習機器、電磁リレー、配線工具一式

有接点シーケンス制御の実践技術

コース番号	実施日	時間	受講料	定員	開催場所
CD029	6/12 ㊍ , 13 ㊎	9:00 ～ 16:00	8,000 円	10 名	東北能開大青森校
CD035	10/9 ㊍ , 10 ㊎	9:00 ～ 16:00	8,000 円	10 名	東北能開大青森校

概要

有接点シーケンス（リレーシーケンス）制御回路の製作のための知識と技術を習得します。

コース内容

1. シーケンス制御の概要
2. 制御機器の種類と働き
3. シーケンス図とタイムチャート
4. 有接点シーケンス（リレーシーケンス）制御回路の製作実習
   ①ON 回路、OFF 回路、AND 回路、OR 回路
   ②自己保持回路
   ③インタロック回路
   ④タイマ回路
   ⑤順序始動回路
5. まとめ



持参品

筆記用具

使用機器

リレーシーケンス技能検定盤、工具

PLC プログラミング技術（汎用命令編）

コース番号	実施日	時間	受講料	定員	開催場所
PD031	6/19 ㊍ , 20 ㊏	9:30 ～ 16:30	8,000 円	10 名	青森職業能力開発促進センター八戸実習場

概要

シーケンス制御が用いられている産業機器の効率化、適正化、最適化（改善）、安全性向上に向けた自動制御システム制作実習を通して、開発環境設定、ラダープログラミング技術を習得します。

コース内容

1. コース概要及び留意事項
2. PLC 制御概要
   ①PLC 制御について
   ②プログラムの表現
3. PLC の構成
   ①リレーやタイマの種類
   ②開発環境設定
4. ラダープログラミング実習
   ①入力デバイス
   ②出力デバイス



持参品

筆記用具

使用機器

PLC（三菱電機 Q シリーズ）、パソコン、プログラミングソフト（GX Works2）、配線工具一式

PLC プログラミング技術（数値命令編）

コース番号	実施日	時間	受講料	定員	開催場所
CD032	7/3 ㊌ , 4 ㊍	9:00 ～ 16:00	9,000 円	10 名	東北能開大青森校

概要

シーケンス（PLC）制御設計の生産性の向上をめざして、効率化、安全性の向上に向けた自動制御システム制作実習を通して、制御プログラム設計の実務能力を習得します。

コース内容

1. コース概要及び留意事項
2. 自動化における PLC
   ①自動化における PLC の位置づけ
   ②入出力インタフェース
3. プログラム設計
   ①PLC における制御の構造化
   ②効率的、可読性のあるプログラムの検討
4. 自動制御システム制作実習
   ①プログラミング実習
5. まとめ



持参品

筆記用具

使用機器

PLC、パソコン、サポートソフト、負荷装置、工具

PLC プログラミング技術（汎用命令編）

コース番号	実施日	時間	受講料	定員	開催場所
CD030	6/19 ㊍ , 20 ㊏	9:00 ～ 16:00	8,000 円	10 名	東北能開大青森校
CD036	10/16 ㊍ , 17 ㊏	9:00 ～ 16:00	8,000 円	10 名	東北能開大青森校

概要

生産性の向上をめざし、自動制御システム実習を通して、制御プログラム設計の実務能力を習得します。

コース内容

1. コース概要及び留意事項
2. PLC の概要と構成
3. 負荷装置の概要と配線
4. プログラム実習
   ①ON 回路、OFF 回路、AND 回路、OR 回路
   ②自己保持回路、インタロック回路
   ③タイマ回路
   ④カウンタ回路
   ⑤PLS、PLF 命令
5. 課題に基づいたプログラム実習



持参品

筆記用具

使用機器

PLC、パソコン、統合開発ソフト（GX Works2）、負荷装置、工具

PLC による自動化制御技術（実践命令編）

コース番号	実施日	時間	受講料	定員	開催場所
CD033	8/28 ㊍ , 29 ㊏	9:00 ～ 17:00	9,000 円	10 名	東北能開大青森校

概要

シーケンス（PLC）制御設計の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化（改善）、安全性向上に向けた自動制御システム制作実習を通して、制御プログラム設計の実務能力を習得します。

コース内容

1. コース概要及び留意事項
2. 自動化技術について
   ①PLC の概要
   ②GX Works2 の操作方法
3. プログラム設計のポイント
   ①基本命令でプログラムの作成
4. 故障の検出方法
5. 安全対策
6. 負荷装置を用いた自動化制御実習
7. まとめ



持参品

筆記用具

使用機器

PLC、パソコン、統合開発ソフト（GX Works2）、負荷装置、工具

PLC による位置決め制御技術

コース番号	実施日	時間	受講料	定員	開催場所
CD034	9/18 ㊍ , 19 ㊎	9:00 ～ 16:00	8,000 円	10 名	東北能開大青森校

概要

シーケンス（PLC）制御設計の生産性の向上をめざして、最適化（改善）、安全性向上に向けた各種パラメータの設定およびプログラミングならびに位置決め制御回路設計実習を通して、PLCによる位置決め制御の実務を習得します。

コース内容

1．コース概要及び留意事項
2．位置決め制御概要
　①目的、用途、サーボシステムについて
3．位置決め制御設計
　①サーボモータ、検出器、コントローラ
4．プログラミング
　①パラメータの設定、位置決めデータの設定、JOG 運転、原点復帰
　②位置決め自動運転・ティーチング
5．位置決め制御回路設計実習
6．まとめ



持参品

筆記用具

使用機器

PLC、パソコン、統合開発ソフト（GX Works2）、サーボモータ、工具

PLC による FA ネットワーク構築技術　DX対応コース

コース番号	実施日	時間	受講料	定員	開催場所
CD037	10/23 ㊍ , 24 ㊌	9:00 ～ 16:00	8,000 円	10 名	東北能開大青森校

概要

シーケンス（PLC）制御設計の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化（改善）に向けたネットワーク構築実習を通して、PLC のコントローラ系ネットワーク、フィールド系ネットワークならびに複合ネットワークの構築技術を習得します。

コース内容

1．コース概要及び留意事項
2．PLC 間ネットワーク概要
　①FA 分野における各ネットワークの概要
3．フィールド系ネットワーク
　（上位または 2 台以上の PLC 間通信）
　①通信の種類と概要
　②システム構成
4．PLC－PLC 間ネットワーク構築技術
　①フィールド系ネットワークとコントローラ系ネットワーク混在システム構築
5．まとめ
※イーサネットを用いたコースは別途ご相談ください。



持参品

筆記用具

使用機器

PLC、PLC-PLC 間の通信ユニット、パソコン、負荷装置、工具、その他

マイコン制御システム開発技術（H8 編）NEW!

コース番号	実施日	時間	受講料	定員	開催場所
CE038	4/10 ㊍ , 11 ㊏	9:00 ～ 16:00	10,000 円	10 名	東北能開大青森校

概要

マイコン制御設計の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化（改善）に向けたマイコンの構成から回路設計・記事による プログラム実習を通して、設計製作手法、プログラム開発技術を習得します。

コース内容

1．マイコン概要
2．マイコンボード概要
3．開発環境
4．SW, LED、アナログ入力回路
5．タイマ
6．割り込み
7．LED 制御プログラム
8．センサ計測プログラム
9．アクチュエータ制御プログラム
10．まとめ



持参品

筆記用具

使用機器

マイコンボード、モータ、センサ、オシロスコープ、開発ツール

マイコン制御システム開発技術　（Arduino Uno R4 編）NEW!

コース番号	実施日	時間	受講料	定員	開催場所
CD039	8/21 ㊍ , 22 ㊎	9:00 ～ 16:00	8,000 円	10 名	東北能開大青森校
CD043	10/9 ㊍ , 10 ㊎	9:00 ～ 16:00	8,000 円	10 名	東北能開大青森校

概要

マイコンによる制御システムの構築技法を理解し、システムの根幹を理解するための開発・設計手法を実習を通じて習得します。マイコンは Arduino を使用し、Arduino IDE で実習を行います。

コース内容

1．コース概要
2．マイコン概要
3．開発環境
4．マイコン周辺回路
　①システム構成
　②入出力回路
　③タイマ、割り込み
5．制御システム開発実習
　①LED 制御プログラム、センサ計測プログラム
6．まとめ



持参品

筆記用具

使用機器

マイコンボード、ブレッドボード、温度センサ、開発ツール

組込み技術者のためのプログラミング（Python 編）

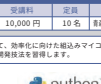
コース番号	実施日	時間	受講料	定員	開催場所
CE040	8/28 ㊍ , 29 ㊎	9:00 ～ 16:00	10,000 円	10 名	青森職業能力開発促進センター 八戸実習場

概要

組込みシステム開発・設計の生産性の向上をめざして、効率化に向けた組込みマイコンシステムの構成や開発手法の実習を通して、システムの最適化のための設計・開発技法を習得します。

コース内容

1．コース概要
2．開発環境
　①IDE の選択
3．開発技法とプログラミング
　①言語の特徴
　②標準 I／O の制御実習
4．プログラミング応用課題
　①動作確認・デバッグ
　②プログラミングのポイント整理
5．まとめ



持参品

筆記用具

使用機器

マイコンボード、ブレッドボード、開発ツール

マイコン制御システム開発技術（Raspberry Pi Pico W 編）

コース番号	実施日	時間	受講料	定員	開催場所
CE041	9/11 ㊍, 12 ㊎	9:00 ～ 16:00	13,000 円	10 名	青森職業能力開発促進センター八戸実習場

概要

マイコン制御設計の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化（改善）に向けたマイコンの構成から回路設計・プログラム実習を通して、設計製作手法、プログラム開発技術を習得します。

コース内容

1. コース概要
2. マイコン概要
3. 開発環境
4. マイコン周辺回路
   ①システム構成
   ②入出力回路
   ③内蔵周辺機能
   ④周辺回路の製作
5. 制御システム開発実習
6. まとめ



持参品

筆記用具

使用機器

マイコンボード、ブレッドボード、開発ツール

マイコンによる DC ブラシ付きモータ制御技術

コース番号	実施日	時間	受講料	定定員	開催場所
CD042	9/25 ㊍, 26 ㊏	9:00 ～ 16:00	8,000 円	10 名	東北能開大青森校

概要

マイコンによる制御システムの構築技法を理解し、システムの根幹を理解するための開発・設計手法を実習を通じて習得します。DC モータ制御の速度制御、P、PI 制御の実習を行います。

コース内容

1. コース概要及び留意事項
2. DC モータ制御系の概要
3. DC モータ制御システム設計
   ①モータ制御回路構成と動作
   ②速度制御方法　PWM 信号の生成
4. 制御方式の決定と実装
   ①P制御
   ②パラメータの導出
   ③ディジタル PID による実装
5. まとめ



持参品

筆記用具

使用機器

マイコンボード、ブレッドボード、DC モータ、開発ツール、オシロスコープ

マイコン制御システム開発技術（Arduino Uno R4 Wifi 編）NEW!

コース番号	実施日	時間	受講料	定員	開催場所
CD044	11/13 ㊍, 14 ㊎	9:00 ～ 16:00	8,000 円	10 名	東北能開大青森校

概要

マイコンによる制御システムの構築技法を理解し、システムの根幹を理解するための開発・設計手法を実習を通じて習得します。マイコンは Arduino を使用し、Arduino IDE で Wifi 通信の実習を行います。

コース内容

1. コース概要
2. マイコン概要
3. 開発環境
4. マイコン周辺回路
   ①システム構成
   ②入出力回路
   ③センサ計測
5. 制御システム開発実習
   ①Wifi 通信プログラム
6. まとめ



持参品

筆記用具

使用機器

マイコンボード、ブレッドボード、温度センサ、Wifi 機器、開発ツール

S パラメータ解析による高周波回路技術 NEW!

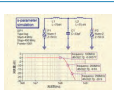
コース番号	実施日	時間	受講料	定員	開催場所
CE045	4/24 ㊍, 25 ㊏	9:00 ～ 16:00	10,000 円	10 名	東北能開大青森校

概要

アナログ回路設計の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化（改善）に向けた高周波シミュレーション技術回路の実定・評価を通して、高周波回路設計技術を習得します。

コース内容

1. 高周波回路の基礎知識
2. スミスチャート
3. S パラメータ（素子を挿入した時の軌跡）
4. インピーダンスマッチング
5. フィルター
6. フィルター
7. ネットワークアナライザの使用方法
8. シミュレータの使用方法
9. 回路の測定と評価
10. まとめ



持参品

筆記用具、複素数計算のできる関数電卓（無くても可）

使用機器

ネットワークアナライザ、キャリブレーションキット、各種高周波サンプル回路、回路シミュレータ

基板製作に係る鉛フリーはんだ付け技術

コース番号	実施日	時間	受講料	定員	開催場所
CE046	5/8 ㊌, 9 ㊍	9:00 ～ 16:00	10,000 円	10 名	東北能開大青森校

概要

デバイス・基板製造／実装組立の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化（改善）、安全性向上に向けた科学的知識に基づく鉛フリーはんだ付け実習を通して、鉛フリーはんだ付け作業の実技技術を習得します。

コース内容

1. コース概要及び留意事項
2. 鉛フリー化
3. 手はんだ付けの科学的知識
4. こて先と目付の相関関係
5. フラックス
6. ぬれ性
7. 鉛フリー手はんだ付けの課題
8. 鉛フリー手はんだ作業のポイント
9. 鉛フリー手はんだ付け実習
10. まとめ



持参品

筆記用具

使用機器

温度コントロール付はんだこて、実習用基板・部品等、ルーペ（拡大鏡）、工具一式、温度コントロール管理ソフト

電子回路製作と実装技術 NEW!

コース番号	実施日	時間	受講料	定員	開催場所
CE047	5/21 ㊌, 22 ㊍, 23 ㊎	9:00 ～ 16:00	25,000 円	10 名	東北能開大青森校

概要

デバイス・基板製造／実装組立の現場力強化及び技能継承をめざして、技能高度化に向けたはんだ付け実習や線材の端末処理および基板の取り付け実習を通して、基板に係る実装技術全般を習得します。

コース内容

1. 端子へのはんだ付け
2. 基板へのはんだ付け
   ①DIP 部品のはんだ付け
   ②表面実装部品のはんだ付け
3. はんだ付接続の検査
4. ネジ締付作業
5. シャーシへの部品組立て
6. 配線作業
7. 仕上げ作業
8. まとめ



持参品

筆記用具

使用機器

温度コントロールはんだこて、実習用基板・部品等

プリント基板設計技術（CR8000 編）

コース番号	実施日	時間	受講料	定員	開催場所
CE048	6/5 ㊍, 6 ㊏	9:00 ～ 16:00	10,000 円	10 名	東北能開大青森校

概要

基板設計の生産性の向上をめざして、効率化に向けたプリント基板設計実習を通して、プリント基板設計のポイントやプリント基板製作の工程およびPCB－CAD の活用法など基板設計に必要な技術を習得します。

コース内容

1. コース概要及び留意事項
2. プリント基板の基礎知識
3. 回路図作成工程
4. プリント基板設計
5. 基板の作成
6. プリント基板で使用する部品関連工程
7. 組織処理
8. アートワークの確認・評価
9. ガーバーデータ出力
10. まとめ



持参品

筆記用具

使用機器

パソコン一式、プリント基板設計・開発ツール

電子回路の計測技術（テスタ・オシロスコープ編）

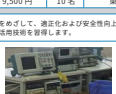
コース番号	実施日	時間	受講料	定員	開催場所
CE049	6/19 ㊍, 20 ㊏	9:00 ～ 16:00	9,500 円	10 名	東北能開大青森校

概要

電気・電子測定／電気・電子部品検査の生産性の向上をめざして、適正化および安全性向上に向けた回路製作を習得します。また、測定実習を通して、各種計測機器の活用技術を習得します。

コース内容

1. コース概要及び留意事項
2. 回路と計測の概要
   ①電気・電子回路の概要
   ②計測の概要
3. 計器の校正
4. 電気回路と電子回路の検証と計測
5. 定形測定実習
   ①アナログ波形の測定技法
   ②ディジタル波形の測定技法
6. まとめ



持参品

筆記用具

使用機器

直流安定電源、ディジタルテスタ、オシロスコープ、ファンクションジェネレータ、電子素子、ブレッドボード、その他各種計器

ディジタル回路設計技術

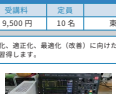
コース番号	実施日	時間	受講料	定員	開催場所
CE050	7/3 ㊍, 4 ㊏	9:00 ～ 16:00	9,500 円	10 名	東北能開大青森校

概要

ディジタル回路設計の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化（改善）に向けた組み合わせ回路や順序回路の製作実習を通して、ディジタル回路設計技術を習得します。

コース内容

1. コース概要及び留意事項
2. 論理代数と論理回路の確認
3. ディジタル回路のハードウエア
4. 組み合わせ論理回路
   ①論理式の簡単化
   ②代表的な組み合わせ論理回路
   ③配線及び動作確認
5. 順序回路
6. ディジタル回路の設計・評価実習
7. まとめ



持参品

筆記用具

使用機器

ロジック IC 及び電子部品、ブレッドボード、オシロスコープ、ファンクションジェネレータ、直流安定化電源

トランジスタ回路の設計・評価技術

コース番号	実施日	時間	受講料	定員	開催場所
CE051	7/17 ㊍, 18 ㊏	9:00 ～ 16:00	9,500 円	10 名	東北能開大青森校

概要

アナログ回路の設計・開発の最適化（改善）をめざして、各種スイッチング回路の設計技術とその評価技術を習得します。また、実習を通して素子の動作原理と組立て技術を習得します。

コース内容

1. コース概要
2. トランジスタの知識
   ①増幅回路への応用
3. トランジスタ利用回路の知識
   ①動作原理
4. トランジスタ利用回路の設計方法
   ①設計のポイント
5. トランジスタ回路の設計・評価実習
   ①回路設計
6. まとめ



持参品

筆記用具

使用機器

直流安定化電源、オシロスコープ、ファンクションジェネレータ、実習用基板、マルチメータ

オペアンプ回路の設計・評価技術

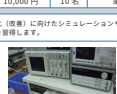
コース番号	実施日	時間	受講料	定員	開催場所
CE052	7/31 ㊍, 8/1 ㊏	9:00 ～ 16:00	10,000 円	10 名	東北能開大青森校

概要

アナログ回路設計の生産性の向上をめざして、最適化（改善）に向けたシミュレーションや計測結果による検証を通して、オペアンプ回路の設計技術とその評価技術を習得します。

コース内容

1. コース概要及び留意事項
2. オペアンプの知識
   ①各種増幅回路への応用
3. オペアンプ利用回路の知識
   ①入出力特性
4. オペアンプ利用回路の設計方法
   ①設計のポイント
5. オペアンプ回路の設計・評価実習
   ①回路設計
6. まとめ



持参品

筆記用具

使用機器

直流電源、オシロスコープ、ファンクションジェネレータ、実習用基板、マルチメータ、パソコン、回路シミュレータ、その他

VLAN 間ルーティング技術 DX対応コース

コース番号	実施日	時間	受講料	定員	開催場所
CE053	9/25 ㊍, 26 ㊏	9:00 ～ 16:00	10,000 円	10 名	東北能開大青森校

概要

通信設備工事／情報配線施工の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化（改善）、安全性向上に向けたL2 スイッチやL3 スイッチによるネットワーク実習を通して、VLAN 間ルーティング技術を習得します。

コース内容

1. コース概要及び留意事項
2. ネットワーク機器の役割と設定
   ①L2 スイッチの役割
   ②L3 スイッチの役割
3. 端末処理
4. VLAN 間ルーティング実習
   ①使用の検討・確認
   ②ネットワーク機器の設定
   ③クライアント構成の確認・構築
5. まとめ



持参品

筆記用具

使用機器

L2 スイッチ、L3 スイッチ、RJ-45 コネクタ、LAN ケーブル、圧着工具、測定器、パソコン

冷媒配管の施工と空調機器据付け技術

コース番号	実施日	時間	受講料	定員	開催場所
PD054	4/9㊍、10㊍	9:30 ～ 16:30	9,000 円	6 名	青森職業能力開発促進センター
PD056	5/29㊍、30㊍	9:30 ～ 16:30	9,000 円	6 名	青森職業能力開発促進センター

概要

エアコン業務に携わる方に、欠陥や問題点を未然に防止するための配管施工技術、配線作業、仕上げ作業技術を習得し据付作業の流れと自作業の注意事項を家庭用空調機器据付け実習を通して習得します。

コース内容

1．コースの概要及び留意事項
2．空調機器据付け実習
　①室内機据付作業
　②室外機設置作業
　③冷媒配管施工
　④ドレン配管施工
　⑤真空引き
　⑥点検検査
3．試運転
4．ポンプダウン、取り外し作業



持参品

筆記用具

使用機器

空気調和機器、配管工具一式、ゲージマニホールド

CAD による電気設備の設計技術

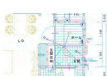
コース番号	実施日	時間	受講料	定員	開催場所
CD055	5/13㊋、14㊌	9:00 ～ 16:00	7,500 円	10 名	東北能開大青森校

概要

電気設備設計の生産性の向上をめざして、効率化、最適化（改善）に向けた、図面データの品質維持に必要となる設計・製図支援ツール（CAD システム）を使った設計実習を通して、電気設備設計技術および図面作成技術を習得します。

コース内容

1．コース概要
2．電気設備図と作図規格
　①建築図と電気設備標準
　②電気設備の種類
　（配線図、系統図、結線図、盤姉図　など）
3．電気設備設計とCADによる電気設備図作成
　①電気設備設計概要
　②電気設備図作図効率を向上させるための事前準備
4．総合実習
5．まとめ
※JW_CAD を使用したことがない方に特におすすめのコースです。



持参品

筆記用具

使用機器

パソコン、CAD システム（JW_CAD）、表計算ソフト

電気設備における積算技術

コース番号	実施日	時間	受講料	定員	開催場所
CD057	7/15㊋、16㊌	9:00 ～ 16:00	7,500 円	10 名	東北能開大青森校
CD058	10/14㊋、15㊌	9:00 ～ 16:00	7,500 円	10 名	東北能開大青森校

概要

電気機器設計／電気設備設計の現場力強化及び技能継承をめざして、技能高度化に向けた電気設備の積算実習を通して、設計・積算技術を習得します。

コース内容

1．コース概要及び留意事項
2．積算の概要
3．諸歩掛率の設定
4．設備工事の積算方法
　①工事費の構成
　②直接工事費の算出法
　③間接工事の算出法
5．積算実習
6．まとめ
※CAD システム（JW_CAD）の基本操作ができる方におすすめのコースです。



持参品

筆記用具

使用機器

パソコン、CAD システム（JW_CAD）、表計算ソフト

電気設備の総合的設計技術

コース番号	実施日	時間	受講料	定員	開催場所
CD059	11/11㊋、12㊌、13㊍	9:00 ～ 16:00	11,000 円	10 名	東北能開大青森校

概要

電力設備設計／電力変換設備設計の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化（改善）に向けた設計技法とパソコンや設計ツールを用いた設計技術を通して、電気設備全般の設計技術を習得します。

コース内容

1．コース概要及び留意事項
2．電気設備設計概要
3．照明・コンセント設備などの配置計画
4．照明・コンセント設備などの分岐配線
5．動力・幹線設備
6．弱電設備
7．防犯・防災設備
8．総合実習
9．まとめ
※CAD システム（ JWCAD）の基本操作ができる方におすすめのコースです。



持参品

筆記用具

使用機器

パソコン、CAD システム（JW_CAD）、表計算ソフト

低圧電気設備の保守点検技術

コース番号	実施日	時間	受講料	定員	開催場所
PD060	5/13 ㊍ , 14 ㊎	9:30 ～ 16:30	8,000 円	10 名	青森職業能力開発促進センター八戸実習場
PD061	5/22 ㊍ , 23 ㊏	9:30 ～ 16:30	8,000 円	10 名	青森職業能力開発促進センター

概要
電気故障対応、予防に向けた低圧電気設備の点検実習を通して、故障個所の特定、対処方法及び、回路計による測定方法、安全対策などを電気の基礎から電気保全技術を習得します。

コース内容
1．コースの概要及び留意事項
2．低圧電気回路の概要
　①電圧と電流
　②配電方式
　③電気法令
3．電気測定の概要
　①電圧計、電流計、電力計、回路計、クランプメータ
　②接地、絶縁、漏電
4．低圧電気設備の保守点検実習
　①抵抗測定、電圧測定、電流測定、電力測定



持参品
筆記用具

使用機器
検電器、回路計、クランプ式電流計、電圧計、電流計、電力計、配線工具一式

現場のための電気保全技術

コース番号	実施日	時間	受講料	定員	開催場所
PD062	6/10 ㊍ , 11 ㊎	9:30 ～ 16:30	8,000 円	10 名	青森職業能力開発促進センター八戸実習場
PD063	6/26 ㊍ , 27 ㊏	9:30 ～ 16:30	8,000 円	10 名	青森職業能力開発促進センター

概要
技能高度化、電気故障対応・予防に向けた現場に即した総合実習を通して、各種測定器の使用方法、故障箇所の特定・対処方法及び、劣化防止、測定試験、安全対策などの電気保全技術を習得します。

コース内容
1．コース概要及び留意事項
2．電気災害概要と対応策
　①接地の概要
　②漏電の概要
　③感電の概要
3．生産設備のトラブルとその対策
　①誤配線及び断線の確認
　②測定器の使用方法
4．電気保全総合課題実習



持参品
筆記用具

使用機器
遮断器、電磁開閉器、電磁リレー、ヒューズ、電動機、電気測定器、配線工具一式

生産現場の機械保全技術

コース番号	実施日	時間	受講料	定員	開催場所
PM064	11/27 ㊍ , 28 ㊏	9:30 ～ 16:30	10,000 円	10 名	八戸インテリジェントプラザ

概要
機械保全の現場力強化及び技能継承をめざして、技能高度化、故障対応・予防に向けて機械を構成する部品の損傷およびトラブルの原因を理解し、機械装置のトラブルを未然に防ぐための設備診断・保全に関する技能と技術を習得します。

コース内容
1．コース概要及び留意事項
2．機械の主要構成要素
3．機械要素の保全
　①軸受けの損傷
　②歯車の損傷
　③潤滑油
　④伝動装置のトラブル
　⑤油空圧装置のトラブル
4．現場保全の問題解決
5．まとめ



持参品
筆記用具

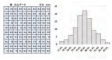
使用機器
本セミナーは座学のみとなります。

QC 7 つ道具活用による製造現場における品質改善・品質保証

コース番号	実施日	時間	受講料	定員	開催場所
CM065	4/17 ㊍ , 18 ㊏	9:00 ～ 16:00	6,000 円	14 名	東北能開大青森校

概要
品質管理の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化（改善）、安全性向上に向けた製造現場で発生する問題について演習を通して、QC 7 つ道具を使用して、定量的な問題分析をおこない、解決していくための手法を習得します。

コース内容
1．コース概要及び留意事項
2．品質管理
　①品質管理、品質保証、品質改善
　②品質管理の重要性
3．製造業における定量的な問題の解決技法
　①QC 7 つ道具の概要
　②QC ストーリー
　③演習　QC 7 つ道具の活用
4．総合演習
5．まとめ



持参品
筆記用具

使用機器
パソコン、プロジェクタ、ホワイトボード、模造紙、付箋、マーカー、電卓、方眼紙、定規

技能伝承のための部下・後輩指導育成 NEW!

コース番号	実施日	時間	受講料	定員	開催場所
PM066	4/17 ㊍ , 18 ㊏	9:30 ～ 16:30	13,500 円	15 名	青森職業能力開発促進センター

概要
生産現場における OJT 業務の現場力強化及び技能継承をめざして、技能高度化に向けた現場改善における多種多様な技術及び後輩育成のための指導技法を習得します。

コース内容
1．コース概要及び留意事項
2．技能伝承
　①技能伝承の重要性　②部下・後輩指導育成の概要
3．部下・後輩育成の進め方
　①目的の提示　②現状把握・分析　③育成計画と育成
4．育成担当者の行動
　①育成担当者に求められる 5 つのスキル
　②個別カリキュラム設計　③指導のポイント
5．総合演習
　②部下指導育成の課題と育成計画の作成
6．まとめ



持参品
筆記用具

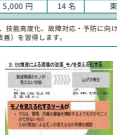
使用機器
プレゼンテーション機器、ホワイトボード、模造紙、マーカ、付箋紙

5S によるムダ取り・改善の進め方

コース番号	実施日	時間	受講料	定員	開催場所
CM067	6/5 ㊍ , 6 ㊏	9:00 ～ 16:00	5,000 円	14 名	東北能開大青森校

概要
生産現場における現場力強化及び技能継承をめざして、技能高度化、故障対応・予防に向けた生産現場で発生する問題の分析・改善技法及び指導技法（製造現場の 5S 改善）を習得します。

コース内容
1．コース概要と留意事項
2．生産現場の構造
3．5S 推進による現場の改善
　①整理・整頓の手順と指導方法
　②清掃・清潔の手順と指導方法
4．ムダ取りの実践による現場改善
　①ムダの定義と生産性向上と繋がり
　②ムダ取り演習
5．現場改善のための指導技法
6．まとめ



持参品
筆記用具

使用機器
パソコン、プロジェクタ、ホワイトボード、模造紙、付箋、マーカー、電卓、方眼紙、定規

ヒューマンエラー対策実践

コース番号	実施日	時間	受講料	定員	開催場所
PM068	9/11 ㊍ , 12 ㊎	9:30 ～ 16:30	13,500 円	15 名	青森職業能力開発促進センター

概要
生産現場における安全管理の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化（改善）、安全性向上に向けた現場担当者の人為的ミスを軽減し、有効な再発防止策を策定する能力を習得します。

コース内容
1．コース概要及び留意事項
2．ヒューマンエラーとは
　①ヒューマンエラーの概要と発生のメカニズム
　②事例演習　ヒューマンエラー事例からエラーを考える
3．ヒューマンエラー防止策
　①製造作業等の予防安全とヒューマンエラー発生時対処
　②演習　職場のヒューマンエラー問題を明らかにする
4．現場での定着
5．総合演習
6．まとめ



持参品
筆記用具

使用機器
プレゼンテーション機器、ホワイトボード、模造紙、マーカ、付箋紙

仕事と人を動かす現場監督者の育成

コース番号	実施日	時間	受講料	定員	開催場所
PM069	10/14 ㊋ , 15 ㊍	9:30 ～ 16:30	13,500 円	15 名	青森職業能力開発促進センター

概要
生産現場における現場力強化及び技能継承をめざして、技能高度化、故障対応・予防に向けた現場のリーダーとして身につけておくべきスキルを確認し、監督者として生産性向上を実践する担当者との関わり方や仕事と現場を動かすための技能を習得します。

コース内容
1．コース概要及び留意事項
2．現場監督（主任）の役割と求められている事
　①監督の役割と意思決定（権限）と責任
　②演習　段取り、作業指示、問題解決
　③演習　製造現場の新人担当者のケーススタディ
3．より良い現場監督（主任）
　①現場のコミュニケーションと班員の指導育成
　②演習　班のマネジメントケーススタディ
4．自己啓発計画書の演習
5．まとめ



持参品
筆記用具

使用機器
プレゼンテーション機器、ホワイトボード、模造紙、マーカ、付箋紙

成功事例から学ぶ品質の維持と向上

コース番号	実施日	時間	受講料	定員	開催場所
PM070	11/6 ㊍ , 7 ㊎	9:30 ～ 16:30	13,500 円	15 名	青森職業能力開発促進センター

概要
品質管理の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化（改善）、安全性向上に向けた品質改善のための手法の理解を通じて、品質管理の重要性と有用性を習得する。

コース内容
1．コース概要及び留意事項
2．品質概論
3．品質管理の取り組み
　①定量的な分析と定性的な分析
　　（QC７つ道具、新 QC７つ道具）
　②製造段階、開発設計段階、商品企画段階での質向上
4．品質管理演習
　①ものづくりゲーム
5．事例と演習から学ぶ品質向上
　①ケース事例と問題抽出・改善検討
6．まとめ

持参品
筆記用具

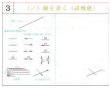
使用機器
プレゼンテーション機器、ホワイトボード、模造紙、マーカ、付箋紙

実践建築設計 2 次元 CAD 技術（コマンド操作編）

コース番号	実施日	時間	受講料	定員	開催場所
PH071	4/14 ㊋ , 15 ㊌	9:30 ～ 16:30	8,000 円	10 名	青森職業能力開発促進センター
PH078	1/14 ㊍ , 15 ㊍	9:30 ～ 16:30	8,000 円	10 名	青森職業能力開発促進センター

概要
建築図面作成の生産性の向上をめざし、効率化、適正化、最適化（改善）に向けた図面作成の実習を通して、建築図面に必要な各種コマンド操作技術を習得します。

コース内容
1．専門的能力の現状確認
2．作図コマンド
　①線・矩形コマンド
　②中心線・２線コマンド
　③文字・寸法コマンド
3．編集コマンド
　①複線・伸縮コマンド
　②範囲選択・消去・移動・複写コマンド
4．クロックメニュー、ショートカット
5．まとめ



持参品
特になし

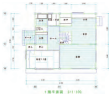
使用機器
デスクトップ PC、自作テキスト

実践建築設計 2 次元 CAD 技術（平面詳細図編）

コース番号	実施日	時間	受講料	定員	開催場所
PH072	4/17 ㊍ , 18 ㊎	9:30 ～ 16:30	8,000 円	10 名	青森職業能力開発促進センター
PH079	1/21 ㊍ , 22 ㊍	9:30 ～ 16:30	8,000 円	10 名	青森職業能力開発促進センター

概要
建築図面作成の生産性の向上をめざし、効率化、適正化、最適化（改善）に向けた図面作成の実習を通して、平面詳細図の作成技術を習得します。

コース内容
1．専門的能力の現状確認
2．躯体作成
　①基準線、壁
　②開口部
　③文字、寸法
3．設備
　①メーカー CAD データの活用
4．環境設定ファイル
5．まとめ



持参品
デスクトップ PC、自作テキスト

使用機器
特になし

実践建築設計 2 次元 CAD 技術（立面図編）

コース番号	実施日	時間	受講料	定員	開催場所
PH073	4/21 ㊋ , 22 ㊌	9:30 ～ 16:30	8,000 円	10 名	青森職業能力開発促進センター
PH080	1/28 ㊍ , 29 ㊍	9:30 ～ 16:30	8,000 円	10 名	青森職業能力開発促進センター

概要
建築図面作成の生産性の向上をめざし、効率化、適正化、最適化（改善）に向けた図面作成の実習を通して、立面図の作成技術を習得します。

コース内容
1．専門的能力の現状確認
2．立面図作成
　①基準線、躯体
　②屋根
　③開口部
3．法令
　①隣地境界線、道路境界線
　②斜線制限
4．まとめ

持参品
デスクトップ PC、自作テキスト

使用機器
特になし

実践建築設計２次元 CAD 技術（構造図編）

コース番号	実施日	時間	受講料	定員	開催場所
PH074	4/24 ㊍ , 25 ㊎	9:30 ～ 16:30	8,000 円	10 名	青森職業能力開発促進センター
PH081	2/4 ㊍ , 5 ㊍	9:30 ～ 16:30	8,000 円	10 名	青森職業能力開発促進センター

概要

建築図面作成の生産性の向上をめざし、効率化、適正化、最適化（改善）に向けた図面作成の実習を通して、構造図の作成技術を習得します。

コース内容

1．専門的能力の現状確認
2．各種伏図の紹介
　①基礎伏図
　②床伏図
　③屋根伏図
3．姫計図の作成
　①躯体
　②開口部、寸法
4．まとめ



持参品

デスクトップPC、自作テキスト

使用機器

特になし

木造住宅の構造模型製作とその活用技術 NEW!

コース番号	実施日	時間	受講料	定員	開催場所
PH075	5/13 ㊍ , 14 ㊍	9:30 ～ 16:30	7,500 円	8 名	青森職業能力開発促進センター

概要

木質構造設計の生産性の向上をめざして、設計・生産・施工上、問題点やトラブルの解決方法を習得します。建築未経験者や初学者、直接工事に係わらない方におすすめです。

コース内容

1．専門的能力の現状確認
2．木造住宅について
　①地盤、基礎
　②構造
　③内外装
3．模型作成
　①地盤、基礎
　②構造
　③内外装
4．まとめ



持参品

特になし

使用機器

模型用木材、クラフトのこ、木工用ボンド

継手・仕口の製作実践技術 NEW!

コース番号	実施日	時間	受講料	定員	開催場所
PH076	5/21 ㊍ , 22 ㊍ , 23 ㊎	9:30 ～ 16:30	10,000 円	8 名	青森職業能力開発促進センター

概要

建築・構造部材加工（木材）の現場力強化及び技能継承をめざして、技能高度化に向けた継手・仕口の加工に必要な鑿・鋸・鉋の知識及び製作実習を通して、安全な作業姿勢と加工ポイント、問題点の把握と解決手法を習得します。

コース内容

1．専門的能力の現状確認
2．大入蟻掛け
　①墨付け
　②上木の加工
　③下木の加工
3．腰掛鎌継
　①墨付け
　②上木の加工
　③下木の加工
4．まとめ



持参品

普段お使いの大工道具

使用機器

木材、のみ、のこぎり、指金

実践的な木造軸組工法の加工・組立技術 NEW!

コース番号	実施日	時間	受講料	定員	開催場所
PH077	7/15 ㊍ , 16 ㊍ , 17 ㊍ , 18 ㊎	9:30 ～ 16:30	14,000 円	8 名	青森職業能力開発促進センター

概要

建築・構造部材加工（木材）の現場力強化及び技能継承をめざして、技能高度化に向けた木造軸組工法における実践的な加工・組立に必要な知識及び技術を習得する。

コース内容

1．専門的能力の現状確認
2．軸組部材の加工、組み立て
　①各部材の墨付け
　②各部材の加工
　③建て方
3．各種仕上げ材の施工
　①下地
　②内装
　③外装
4．まとめ



持参品

普段お使いの大工道具

使用機器

木材、のみ、のこぎり、指金

MEMO



令和5年度実績

能力開発セミナー満足度調査



セミナーの品質向上のため、受講者の方々に対し、コース内容に関する満足度についてのアンケート調査への回答をお願いしております。

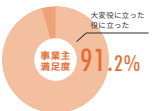
その結果、受講者の皆様から「役に立った」との高い評価をいただきました。

お寄せいただいた貴重なご意見等は、ひとつひとつのコースをより良いものにするための参考とさせていただいております。

今後も企業の皆様の人材育成の一助となりますよう努めてまいります。

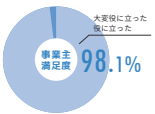
ポリテクセンター青森





東北能開大青森校







今まで学ぶ機会のなかった知識を習得できたので役立ちました。



社員教育の進め方は、当社の課題となっています。その面でも大変参考となりました。



弊社にないノウハウでの解決策を習得できた。



現場の悩み事やトラブル事例の解決につながった。



課題に対して新たな視点で向き合う事ができ、知らない技術や手法を学べた。



独学ではなく人から教わるのが久しぶりであったため勉強の効率が良かった。



作業者への知識の共有をし、品質向上ができた。

アンデス電気株式会社 様

会社について

当社は、「IT＆環境・健康」をテーマに、
- 空気清浄機器・車両用 LED 照明関連の環境システム事業
- 電子応用機器の樹脂成形、実装組立ての電子デバイス事業
- 精密金属加工や自動化・省力化設備設計開発・製作のメカトロニクス事業

を、三本柱 として、開発・設計から製造～販売に至るまで一貫体制で取り組んでいます。
特に、空気清浄機は独自技術の酸化チタン光触媒（ひかりクリスタ）を搭載して、高いウイルス除去効果と除菌性能を有し、新幹線の喫煙ルームへの搭載実績を生かして、安全、安心な空気を提供しています。



受講いただいたコース

コース名：実践機械製図（寸法・公差編）
機械製図作業で、寸法公差、表面粗さ、幾何公差の各機能と図示方法を習得します。
コース名：2 次元 CAD による機械製図技術
機械製図作業に必要な 2 次元 CAD の基本操作を習得します。
コース名：3 次元 CAD を活用したソリッドモデリング技術
ソリッドモデル作成、モデルの 2 次元図面への展開作業などを習得します。

企業での活用事例 受講者の声、事業主の声



テクニカル工場　生産技術課
佐藤　等　様

この度、社内の人事異動により、新たに機械製図の業務を担当することになりました。これまで機械製図の経験がなかったため、社外セミナーを受講し、基本的な知識とスキルを学びました。
今後は、学んだ内容を活かしながら、さらにスキルを磨いて業務に取り組んでいきたいと考えています。

社内の人事異動に伴い、リスキリングのためにセミナーを受講させていただきました。
今回のセミナーでは、実務に直結する多くの新しい知識やスキルを学ぶことができ、大変有意義な時間を過ごすことができました。早速、業務に活かしていきたいと思っております。
このような機会をいただき、感謝申し上げます。



事業部長
島田　勝雄　様

TVS REGZA 株式会社 五所川原工場 様

会社について

五所川原工場は、TVS REGZA 株式会社唯一の工場を主体とした事業所です。
REGZAの TV 関連としての業務ではなく、製造受託事業（基板実装から組立まで）、各種信頼性評価業務が主となりますが、コールセンター等アフターサービス事業などのご要望があれば、フレキシブルに対応可能であります。2018 年 3 月にハイセンスグループの一員となりましたが、新たな気持ちで、各種製造受託事業を軸に更なる事業拡大に取り組んでおります。



受講いただいたコース

コース名：プリント基板設計技術（ＣＲ５０００編）
プリント基板の開発、基板設計の技能高度化による生産性の向上を目指し、PCB－CAD の利用・活用法の習得や、効率化に向けたプリント基板設計実習を通し、各種用語、基板設計手順と注意点、回路設計、基板設計、部品登録、ライブラリー管理を学びます。



企業での活用事例 受講者の声、事業主の声



自主事業推進担当
斉藤　英弘　様

現在CR-5000システムを使用しており、後継システムとなるCR-8000でのプリント基板設計技術を受講しました。基本的な作業がCR-5000を踏襲されており、スムーズに実習に入る事が出来ました。CR-8000では設計データの基板内部を3D表示可能でビルドアップ基板設計等の際に役立つと思います。CR-5000は3年程でサポート終了となる為、今回セミナーを受講させて頂き、今後の業務に活かしていけると感じています。

今回のコースを入れ、2023 年度から 14 セミナー（延べ 27 名）を受講させて頂きました。以前は社内でも多くの教育を実施してきましたが、外部のセミナーを受け、忘れかけていた気づき、再認識、新たな技能向上に大変役立っております。能開大様が弊社から数分という距離も魅力がありますので、今後もセミナーを活用したいと考えています。



青森統括部長
佐々木　健人　様

青森電気工業株式会社 様

会社について



弊社は昭和 40 年に創業し、十和田市を拠点として地域のお客様の明るい暮らしを守っています。電気工事、通信工事を中心に公共施設から民間の建物、一般住宅に至るまで、幅広い分野でお客様のお役に立ち、「あなたの会社に頼んでよかった」と満足していただけるサービスを心がけ、社会に必要とされる電気技術の革新を追及し続けています。

受講いただいたコース

コース名：現場のための電気保全技術

生産設備における総合的な電気保全技術を各種測定器を用いた実践的な実習（故障箇所の特定、機器選定）によって習得します。

電気災害の発生事例をもとに、その原因と対策について学ぶことで作業の安全対策に関する知識を習得します。





企業での活用事例 受講者の声、事業主の声



受講者

扇　大輔　様

今回のセミナーでは現場作業でも実際に役立つ知識の習得や実技を通して電気保全の大切さを学ぶことが出来ました。

特にリレー回路の作成や、絶縁抵抗計を用いた絶縁不良箇所の特定、他では経験できない感電体験など電気の怖さも再認識しました。今後もセミナーで学んだ知識や経験を仕事に活かしていきたいと思います。

社外講習は社内とは違う雰囲気や緊張感が伴い、甘えや自分勝手なことが出来ないため教育になると考えています。また、自分のスキルが他の受講者と比べてどうかを認識することで、自身のレベルが把握出来ます。セミナーを受講したことで、「そういうことか」「こうするのか」等の知的な気づきを得ることができたと感じています。セミナーを 1 回受講してすぐに知識や技術が向上することはないと思うので、継続して、繰り返し活用したいと考えています。



代表取締役
畑中　健一　様

丸喜株式会社齋藤組 様

会社について

丸喜株式会社齋藤組には、
お客さまの要望に応えることができるひとがいます。
お客さまといっしょに考えることができるひとがいます。
お客さまが求めることを実現できるひとがいます。
お客さまが必要なときにすぐにかけつけることができるひとがいます。
たとえ、今できなくても、かかんに挑むひとがいます。
お客さまの要望に、これまでの技術・信頼・経験とこれからのアイデアをプラスして、要望を驚きに、希望を感動に変えて、よりよい家を提案し、お届けしていくことを約束します。
そのためにわたしたちはこれからも「応え」「創り」「挑み」つづけます。



詳細情報につきましてはこちらをご覧ください

公式 HP　YouTube　Facebook

受講いただいたコース

コース名：地域産木材の活用方法

木材を高精度で加工するためには大工道具の手入れが必要です。

そのための手法を習得する内容になっています。

手入れをした自分用に調整した大工道具を使って演習課題「ウッドスピーカー」を作っていただきました。





企業での活用事例 受講者の声、事業主の声



受講者

刃物は現場で使う機会がとても多いので、自分で研ぐことが出来るようになるのはとても役に立つと思いました。

研ぎたての大工用具で加工するとやりやすさが全然違って、より楽に正確に仕事ができてとても楽しかったです。

会社内で見習い大工が親方の背中を見て成長する時代から変わらなければいけないと思います。

そのような時、大工の基礎の知識とスキルが学べる機会と思い参加させました。

毎回とても楽しそうに教わっているので、気晴らしにもなっているのかなと思います。



上司

専務取締役
佐藤　一成　様



応援します！

即戦力の人材確保を応援します

即戦力の人材育成



離職者訓練（標準6カ月間）

ポリテク

機械系

デジタルものづくり科

2次元CADにおける機械図面作成、3次元CADモデリングや汎用工作機械加工法、NC工作機械のプログラミング及び加工、CAM、3次元プリンタによる試作・評価の習得、図面の製作から加工・評価検査までの製造工程ポート技術・技能の習得をします。



電気系

電気エンジニア科

電気理論、シーケンス制御（制御盤製作、PLCを用いた機器制御、空気圧制御、電気設備基準、屋内配線設計、CAD活用技術、通信施工工事、スマートフォンを用いたIoT機器制御技術、消防設備工事の知識・技能の習得をします。



電気設備技術科

電気設備基準と屋内配線設計、各種の配線施工法や電動機工事、家庭用エアコン据付工事、パソコン基礎とCAD活用技術、有線点シーケンス制御の技能の習得をします。また、企業での実習の経験を積みます。

居住系

住宅リノベーション科

木造住宅の構造・法規の知識と建築CADによる製図、クロス貼り、フローリング貼り等の内外装仕上げ、断熱施工に関する基本的技能の習得をします。



住宅建築施工科（八戸実習場）

木造住宅の基礎知識（構造、関連法規等）、建築CADを用いた図面作成、3Dパース等の活用法などの「設計」に必要な技能、木造住宅の部材加工、組立て、内外装仕上げ、測量などの知識・技能の習得をします。

求職情報誌

離職者訓練受講生の希望職種や自己PRなどを掲載した求職情報誌をコースごとに送付します。企業からのリクエスト求人（当名求人）に繋げています。求人情報誌の送付をご希望される場合には ご連絡ください。



お問合せ先　ポリテクセンター青森　就職支援係　017-722-1771

工科系短期大学校



高卒者等を対象（2年制）

青森校

機械系

生産機械技術科　定員15名

機械設計：CADを活用して精密部品を設計する技術を学びます。
精密加工・測定：金属を0.01mm単位で削って精密部品を作る技術を学びます。
機械制御：工場内で使われる自動機を動かす制御技術や保全技術を学びます。



電気・電子系

電気エネルギー制御科　定員20名

電気技術：電気の基礎から電気設備の保守・メンテナンスを行うための技術を学びます。
エネルギー技術：自然エネルギーの発電原理およびその利用技術や省エネ技術について学びます。
制御技術：工場ロボットの自動化や制御プログラミングの技術について学びます。



電子情報技術科　定員20名

ハードウェア：電気の基礎から、マイコンのハードウェアである電子回路が動作する仕組みを学びます。
ソフトウェア技術：マイコンおよび周辺回路を思いどおりに動かす技術を学びます。
通信ネットワーク：インターネットが繋がる仕組みなど、通信について学びます。



共同研究・受託研究

会社が抱える下記のような生産上の課題や案件に対し、青森校の専門的ノウハウを活かした共同研究・受託研究を、地域企業と連携して行います。ご要望の際はお気軽にご相談下さい。

- 現場の技術改良・改善及び新技術導入
- 業務の自動化、効率化等のための技術導入
- 新製品開発など



お問合せ先　東北総務大青森校　学務課助課　0173-37-3201



さらなるスキルアップを目指すなら！

高度ポリテクセンター

高度ポリテクセンターとはものづくり分野で働く方の成長をサポートする機関です。



年間約700コースの豊富なカリキュラム
経験豊富な講師陣による実践的な研修内容
ぜひ社員教育の一環としてご利用ください！

18の技術分野

切削・研削加工	現場運営・改善	電気設備・自動制御
塑性加工・金型	環境・安全	パワーエレクトロニクス
射出成形・金型・溶接	機械設計	電子回路・画像・信号処理
測定・検査・計測	自動化	組込み・ＩＣＴ
材料・表面処理・機械保全		通信システム

人気コースの一例

詳しくは、公式サイトまたは当センターのコースガイドをご覧ください

- 金属材料の腐食対策
- カーボンニュートラルに向けた機械設計の進め方
- 電子回路から発生するノイズ対策技術
- ＡＩ・画像処理技術＜集中育成コース＞
- データサイエンス技術＜集中育成コース＞



お問合せ先

高度ポリテクセンター

043-296-2582（事業課）

〒261-0014 千葉県千葉市美浜区若葉 3-1-2　E-Mail：kodo-poly02@jeed.go.jp

公式サイト　X（旧 Twitter）　YouTube

生産性向上支援訓練のご案内

生産性向上支援訓練とは、企業が生産性を向上させるために必要な知識などを習得する職業訓練です。
全国のポリテクセンター等に設置した生産性向上人材育成支援センターが、専門的知見を有する民間機関等と連携して、企業が抱える課題や人材育成ニーズに対応した訓練を実施します。

生産性向上支援訓練 3 つのポイント

1 企業の生産性向上に効果的な知識や技法を習得！

・生産管理、組織マネジメント、マーケティング、データ活用など、**あらゆる産業分野の生産性向上に効果的なカリキュラム**を用意（全 131 コース（'24.12 月現在））

2 企業のニーズに合わせたオーダーメイドのコース設定が可能！

・自社会議室等を訓練会場とすることが可能（企業に講師を派遣します）
・実施日時や訓練時間も調整可能（訓練時間は 4 ～ 30 時間で設定）
※従業員 1 人からでも利用できるオープンコースも実施しています
※サブスクリプション型コース（e ラーニング）もあります



3 受講しやすい料金設定！

・受講料は 1 人あたり **2,200 円～ 6,600 円（税込）**
・条件を満たす場合は国の助成金（人材開発支援助成金）を利用可能

全国実績（累計）	受講者数	利用した企業数	受講者評価（集約の役立ち度）
※'17～'24.9 月末まで	312,899人	104,746社	98.4％

訓練受講までの流れ

課題や方策の整理 センター担当者が企業を訪問し、人材育成に関する課題や方策を整理します。

訓練コースのコーディネート 相談内容を踏まえて、課題やニーズに応じた訓練コースを提案します。

・現場の課題を発見し、改善する方法を学びたい
・ＲＰＡを活用して業務を自動化したい
・テレワークを導入して業務を効率化したい
→ 分野コース：生産管理、流通・物流、バックオフィス など
・生産現場の問題解決　・RPA 活用
・テレワークを活用した業務効率化　など

・従業員の仕事の効率化を促進したい
・リスクを低減させる方法を学びたい
・ベテラン従業員の技術を後輩に継承させたい
→ 分野コース：リスクマネジメント、組織力強化、生産キャリア形成 など
・従業員とのより良好なコミュニケーションによる現場改善
・リスクマネジメントによる損失防止対策

・顧客満足度の向上を図りたい。
・消費者の動向を把握に活用したい。
・インターネットを活用して販売促進を図りたい。
→ 分野コース：営業・販売、マーケティング、プロモーション など
・マーケティング志向の営業活動の分析と改善
・従業員営業手法　・従業員営業実践　など

・データ集計の作業を効率化したい。
・マクロを使って定型業務を自動化したい。
・集客につながるＨＰを作成したい。
→ 分野コース：ネットワーク、データ活用、情報管理 など
・飲食業フロアマクロによる定型業務の自動化
・集客につながるホームページ作成　など

訓練受講 所定の期日までに受講料の支払い等の手続を行い、訓練を受講してください。

独立行政法人
高齢・障害・求職者
雇用支援機構
ポリテクセンター青森
（青森職業能力開発促進センター）
生産性センター業務課
〒030-0822 青森県青森市中央３丁目２０番２号
TEL：017-777-1186
FAX：017-777-1187
Mail：aomori-seisan@jeed.go.jp

ハロートレーニング
急がば学べ

生産性向上支援訓練カリキュラムモデル【抜粋】

目的 A 生産・業務プロセスの改善

分野	コード	カリキュラムコース名	推奨訓練時間
生産管理	046	ものづくりの仕事のしくみと生産性向上	初任層
	051	生産性分析と向上	中堅層
	052	生産現場の問題解決	中堅層
	053	生産性向上のための課題とラインバランシング	中堅層
	054	生産計画と工程管理	中堅層
	005	サービス業における IE 活用	中堅層
	119	製造分野における DX 推進	中堅・管理者層
	056	原価管理とコストダウン	管理者層
	057	在庫管理システムの導入	中堅層
	058	購買・仕入れのコスト削減	中堅層
	059	POS システムの活用技術	中堅層
品質管理	010	品質管理基本	初任層
	011	品質管理実践	中堅層
	052	サービスマネジメントによる顧客満足の向上	中堅層
流通・物流	215	3PL と SCM	中堅・管理者層
	016	物流の IT 化	初任層
	013	流通システム設計	中堅層
	014	物流システム設計	中堅層
	012	配売業・サービス業の販売戦略	中堅層
	017	SCM の現状と将来展望	管理者層
バックオフィス	018	クラウド活用入門	中堅層
	019	IoT 活用によるビジネス展開	中堅層
	020	クラウドを活用したシステム導入	中堅層

分野	コード	カリキュラムコース名	推奨訓練時間
	021	IoT 導入に係る情報セキュリティ	中堅層
	054	クラウドを活用した情報共有基盤の実現	中堅層
	007	導入コストを抑えるクラウド会計・ＥＲＰ＆ＰＯＳレジ活用	中堅・管理者層
	083	テレワークを活用した業務効率化	中堅層
	088	テレワーク活用	初任層
	130	経理業務の効率化につながる DX の実践	中堅・管理者層
	155	ITツールを活用した業務改善	中堅層
	089	データ活用で進める業務推進	中堅・管理者層
	090	失敗しない社内システム導入	中堅・管理者層
	091	企業内で IT 活用を推進するために必要な技術理解	中堅・管理者層
	092	企業内 IT 活用を推進するために必要なマネジメント	中堅・管理者層
バックオフィス	117	DX（デジタルトランスフォーメーション）の導入	中堅・管理者層
	118	ベンダーマネジメントの向上	中堅層
	063	IT 新技術による業務改善	中堅・管理者層
	094	AI（人工知能）活用	中堅・管理者層
	095	ビッグデータ活用	中堅・管理者層
	155	RPA を活用した業務効率化・コスト削減	中堅層
	096	RPA 活用	初任・中堅層
	119	DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進	管理者層
	120	データサイエンス入門	中堅層
	131	GX（グリーントランスフォーメーション）の推進	中堅・管理者層
	207	企業価値を上げるための財務管理	初任層

目的 B 横断的課題（※生涯キャリア形成（ミドルシニアコース）を除く）

分野	コード	カリキュラムコース名	推奨訓練時間
組織マネジメント	022	IoT を活用したビジネスモデル	管理者層
	024	中小企業のレジリエンス・マネジメントの推進	管理者層
	121	ビジネスと SDGs（持続可能な開発目標）の融合	中堅・管理者層
	038	事業を なくす安全衛生活動	管理者層
	023	個人情報保護と情報管理	管理者層
	044	基準値設定型業務のための安心・安全な職場環境の構築	管理者層
	039	リスクマネジメントによる損失防止対策	管理者層
	059	災害時のリスク管理と事業継続計画	管理者層
	040	e ビジネスにおけるリーガルリスク	管理者層
	057	上司と上司のトラブル対応	管理者層
	224	チレンママネジメント	管理者層
	025	知的財産権トラブルの対応（1）	管理者層
	026	知的財産権トラブルの対応（2）	管理者層
	058	現場社員のための組織行動力上	初任層
	041	業務効率向上のための時間管理	中堅層
	062	顧客満足度向上のための組織マネジメント	中堅層

分野	コード	カリキュラムコース名	推奨訓練時間
組織マネジメント	060	企画力向上のための経理的思考法	中堅層
	042	成果に結び付く業務改善	中堅層
	043	組織力強化のための管理	管理者層
	061	職場のリーダーに求められる統率力の向上	管理者層
	051	管理者のための問題解決力向上	管理者層
	027	プロジェクトマネジメント管理技法の向上	管理者層
	052	プロジェクトマネジメントにおけるリスク管理	管理者層
	065	睡眠経験者のキャリア形成と管理者の役割	管理者層
	085	従業員満足度の向上	中堅層
	066	ストレスチェック制度を用いた職場環境改善と生産性向上	中堅・管理者層
	097	ムダを見直すための業務プロセスの見える化と業務改善	中堅・管理者層
	122	テレワーク業務における労務管理	中堅・管理者層
	126	DX 人材育成の進め方	中堅・管理者層
	127	物流現場のリーダー育成	中堅層
	128	ファシリテーションを活用した合意形成の効率化	中堅・管理者層

目的 C 売上増加

分野	コード	カリキュラムコース名	推奨訓練時間
営業・販売	240	提案型営業手法	初任層
	243	ビジネス現場における交渉力	初任層
	250	提案型営業実践	中堅層
	227	マーケティング志向の営業活動の分析と改善	中堅層
	228	統計データ解析とコンセプトメイキング	中堅層
	123	オンライン営業技術	初任・中堅層
	229	顧客分析手法	中堅層
	245	顧客満足向上のための CS 調査とデータ分析	中堅層

分野	コード	カリキュラムコース名	推奨訓練時間
マーケティング	030	業務に基づくマーケティング入門	初任層
	031	マーケティング戦略概論	中堅層
	032	マーケット情報とマーケティング計画（調査編）	初任層
	033	マーケット情報とマーケティング計画（販売編）	初任層
	046	インターネットマーケティングの活用	中堅層
企画	034	製品・市場戦略	中堅層
価格	035	新サービス・商品開発の基本プロセス	中堅層
プロモーション	036	プロモーションとチャネル戦略	中堅層
	047	チャンスをつかむインターネットビジネス	中堅層

ミドルシニアコース カリキュラムモデル

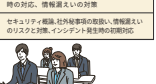
ミドルシニアコースでは、企業を支えるミドルシニア世代の役割の変化へ対応できる人材育成のために“従業員のモチベーションの維持”、“後輩への技能継承”など、定年延長や継続雇用等の課題解決に効果的なカリキュラムをご用意しています。

コースNo.	分野	コース一覧	コースのねらい 基本項目
066	役割の変化への対応	中堅・ベテラン従業員のためのキャリア形成	中堅・ベテラン従業員が職場の環境を通じて今後のあるべき役割を再確認した上で、役割の変化に対して円滑に対応できる土壌醸と意識を習得する。 「職務の棚卸し」、「求められる役割」、「今後従業員に対する期待・貢献・指導スキル」、「役割の変化に応じた教育とその関係構築スキル」
067		チームの強化と中堅・ベテラン従業員の役割	中堅・ベテラン従業員が求められる今後の役割や能力を確認し、職場の課題に対してこれまでの経験に基づき後輩従業員と共同で解決策を導くための知識と技能を習得する。 「職場の課題」、「求められる役割と能力」、「アサーティブの基本」、「アサーティブな指導」
068		後輩指導力の向上と中堅・ベテラン従業員の役割	中堅・ベテラン従業員がこれまで培った経験を活かした後輩従業員を指導するためのコーチングスの知識と技能を習得し、職場の課題解決に向けた共通の役割を理解する。 「後輩指導の課題」、「求められる役割」、「アサーティブな指導」、「コーチングを活用した指導法」
069		中堅・ベテラン従業員による組織の活性化のための組織独自	中堅・ベテラン従業員がこれまで培った経験を活かし、後輩従業員の良さを認め活用してメンターとして積極的動きができるように必要な知識と技能を習得する。 「組織の課題」、「求められる役割」、「メンタリングによる組織強化」
070		SNSを活用した相談・助言・指導	中堅・ベテラン従業員がこれまで培った経験をもとに、SNS（ソーシャルネットワークサービス）を活用して、相談・助言・指導を行うために必要な知識と技能を習得する。 「メンタリングによる組織強化」、「相談機能の手法」、「SNSとは」
071		フォローシップによる組織力の向上	中堅・ベテラン従業員が組織内部や管理者の役割等を理解し、職場の組織力向上のためチームをアシストするための知識と技能を習得する。 「職場の課題」、「組織力の向上組織」、「フォローシップ」
072	技能・ノウハウの継承	経験を活かした職場の安全確保（未然防止編）	中堅・ベテラン従業員がこれまで培った安全意識や業務や企業における安全意識を活用し、様々な情報で培った経験を基に、企業における危険事項の把握、問題点の抽出、職場安全意識の醸成を図るための知識と技能を習得する。 「職場の課題」、「求められる役割」、「安全対策」
073		経験を活かした職場の安全確保（対策編）	中堅・ベテラン従業員がこれまで培った安全意識や業務や企業における安全意識を活用し、リスクを低減するための具体手法に関する知識と、様々な情報で培った経験を基礎とする、生産現場におけるリスクの低減措置及び改善ができる知識と技能を習得する。 「安全意識に係る経験の棚卸し」、「職場の安全の評価」、「職場の安全指針とリスクの低減」
074		クラウドを活用したノウハウの基礎と共有	中堅・ベテラン従業員がこれまで培った経験値情報やノウハウをクラウドサービスを活用して情報交換や共有するための知識と技能を習得する。 「クラウドとは」、「クラウドのメリット」、「クラウド活用の注意点」、「クラウド活用の事例」
075		職業能力の整理とノウハウの継承	後輩従業員へのノウハウの継承を目指して、中堅・ベテラン従業員がこれまで培った職業能力を明確にするための知識と技能を習得する。 「ノウハウ伝承の重要性」、「職業能力の見直し」、「職業能力の明確化」
076		職業能力の体系化と人材育成の基本力	後輩従業員へのノウハウの継承を目指して、職業能力の整理と体系化の手法、人材育成の手法を習得する。 「職業能力の体系化」、「棚卸する職業能力」、「人材育成の基本力」
077		経験に基づく営業活動の見える化と継承	後輩従業員へのノウハウの継承を目指して、これまで培った経験に基づく知識・技能の見える化及び後輩従業員の業務改善支援ができる知識と技能を習得し、後輩従業員の営業活動の効率や改善状況を把握できるようにする。 「経験の棚卸し」、「営業活動の改善」、「コーチングを活用した指導法」
078		業務改善のOJTを実施するための指導法	後輩従業員へのノウハウの継承を目指して、中堅・ベテラン従業員が人材教育や技能伝承のOJTを通じて後輩従業員に伝授するための知識と技能を習得する。 「人材育成のプロセス」、「効果的なOJTの進め方とポイント」、「現場でなかなか実現的指導法」指導
079		ノウハウの継承のための研修講師の育成	後輩従業員へのノウハウの継承を目指して、中堅・ベテラン従業員がこれまで培った経験や技能を伝達する社内（集合）研修の講師となるための知識と技能を習得する。 「講師の役割」、「講師に必要な資質」、「講師としての心構え」、「講師に求められる姿」、「研修の基本」、「研修の進め方」
080		作業手順の作成によるノウハウの継承	後輩従業員へのノウハウの継承を目指して、中堅・ベテラン従業員等の作業の見える化を行い後輩従業員が習得すべき作業手順の作成に係る知識と技能を習得する。 「チェックマネジメント」、「作業分解」、「作業手順の作成」
081		若手従業員に気づきを与える安全体主動（実地編）	中堅・ベテラン従業員がこれまでの経験や活かして、潜在安全意識を理解し職場にどこにおける安全意識の向上のために取りまとまっている55を通して、後輩従業員に対して安全活動の重要性について伝達するための知識と技能を習得する。 「安全意識を高める取組み」、「安全意識を活動」、「ノウハウの伝承」
082		若手従業員に気づきを与える安全発生活動（点検編）	中堅・ベテラン従業員がこれまで培った安全指導の豊富なリスクを低減するための点検手法を理解して、後輩従業員に対して気付きを与える安全発生活動の知識と技能を習得する。 「メンタリングによる組織強化」、「企業における安全発生活動」、「点検による管理」

生産性訓練（IT業務改善）カリキュラムモデル

コースNo.	分野	コース（推奨訓練時間）	基本項目
98	ネットワーク	● ワイヤレス環境に必要となる無線LANとセキュリティ（6～12時間）	無線LANの技術・セキュリティ、環境構築のポイント
99		● 社内ネットワークに役立つ管理手法（6～12時間）	LANの基礎・パソコンLAN環境設定、通信プロトコル、TOP/IP設定
100	データ活用	● 表計算ソフトを活用した業務改善（6～12時間）	表計算ソフト概要・基本操作、文書作成ソフトとの用途の相違、ワークシート活用
101		● 業務に役立つ表計算ソフトの関数活用（6～12時間）	データ処理、関数の実務活用
102		● 表計算ソフトを活用した効果的なグラフの可視化（6～12時間）	データの可視化、グラフの効果的な活用、データを可視化する応用機能
103		● 効率よく分析するためのデータ集計（6～12時間）	データ集約・集計、データ集計に役立つ機能
104		● ピボットテーブルを活用したデータ分析（6～12時間）	多角的データ分析、ピボットグラフによるデータの見える化、複数データブルの分析
105		● 品質管理に役立つグラフ活用（6～12時間）	パレート図（ABC分析）・ヒストグラム（度数分布表）・管理図の活用
106		● 表計算ソフトを活用した統計データ解析（6～12時間）	統計解析概要、データ分析、母集団と標本
107		● 表計算ソフトのマクロによる定型業務の自動化（12～18時間）	マクロの基本知識、基本文法、制御文法
108		● データベースを活用したデータ処理（基本編）（6～12時間）	データベースの概要・設計、抽出処理（クエリ）
109		● データベースを活用したデータ処理（応用編）（6～12時間）	リレーションシップと参照整合性、クエリの活用、フォームの活用
110		● データベースを活用した高度なデータ処理（12～18時間）	関数の活用、SQLによるデータ抽出・テーブルの整合性、SQLによる高度な集計とデータの更新
111		● 業務効率を向上させるワープロソフトの活用（6～12時間）	ワープロソフト概要と基本操作、業務効率を向上させる文書作成のヒント
112	情報発信	● 相手に伝わるプレゼン資料作成（6～12時間）	プレゼンテーションソフトの活用、スライド作成、資料提案時のポイント
113		● 集客につながるホームページ作成（6～12時間）	Web ライティングとは、Web ライティングにおける文章校正、集客につながるホームページ
114		● SNSを活用した情報発信（6～12時間）	SNSの活用、情報発信、SNSの危険性
124		● オンラインプレゼンテーション技術（6～12時間）	オンラインプレゼン技術概論、オンラインに適した資料作成・発表プレゼン技法・適した環境
115	倫理・セキュリティ	脅威情報とセキュリティ対策（6～12時間）	脅威情報、セキュリティポリシー、セキュリティ対策手法
116		● 情報漏えいの原因と対応・対策（4～6時間）	情報漏えいの原因と提案、情報漏えい発生時の対応、情報漏えいの対策
125		テレワークに対応したセキュリティ対策（6～12時間）	セキュリティ概論、社外秘事項の取扱い、情報漏えいのリスクと対策、インシデント発生時の初期対応

※各コースとも訓練時間は4～30時間までの間で設定可能です。
※上記のカテゴリは、当機構で定めたカリキュラムモデルとなっております。
※●のコースは、パソコン等の機器やソフトウエアを使用するコースです。



生産性向上人材育成支援センターでは、

中小企業等における DX 人材の育成 を支援しています！

現在、社会環境・ビジネス環境の変化に対応すべく、企業・組織を中心に社会全体のＤＸ（デジタルトランスフォーメーション）が進んでいます。これに対応するためには、年代・職種を問わず、働き手一人ひとりがＤＸに参画し、デジタル技術を活用したプロセスの改善や、デジタルを活用しやすい組織づくりに取り組むことが重要となります。

生産性向上人材育成支援センターでは、生産性向上支援訓練カリキュラムモデルの中から「DX 対応コース」を選定し、中小企業・事業主団体等の"DX 人材の育成"を支援しています。



DX 対応コースの概要

生産性向上支援訓練カリキュラムモデルの中から、訓練目的・分野による分類とは別に、DX 推進に向けたスタートコース、ネットワーク・セキュリティに関するコースを選定し、共通領域として設定しました。
また、DX に向けた３つの課題を設定し、それぞれの課題解決に対応したコースを選定・分類しています。

共通領域

DX 推進に向けたスタートコース
- DX の推進に必要な知識や導入事例を知りたい

ネットワーク・セキュリティに関するコース
- 社内ネットワークのセキュリティ対策を進めたい

３つの課題

デジタル化と新たな生活様式の課題への対応
- 自社業務に適切な IT ツールを選定したい
- POS システムを活用して売上げを伸ばしたい

業務プロセスの課題への対応
- システム化に伴うコストの考え方を知りたい
- 物流全体の最適化・効率化を実現したい

ビジネスモデルの課題への対応
- IoT によるビジネス環境の変化や動向を知りたい
- システム開発に必要な発注者の役割を理解したい

※ＤＸ対応コースの一覧は、裏面をご覧ください。

- **受講対象者**
  事業主の指示を受けた在職者の方
- **訓練日数・時間**
  おおむね１～５日
  （４～ 30 時間）
- **受講料（１人あたり・税込）**
  2,200 円～ 6,600 円
- **訓練会場**
  自社会議室等を訓練会場とすることが可能です（講師を派遣します）



訓練受講までの流れ

課題や方策の整理	センター担当者が企業を訪問し、人材育成に関する課題や方策を整理します。
訓練コースのコーディネート	相談内容を踏まえて、課題やニーズに応じた訓練コースを提案します。
訓練受講	所定の期日までに受講料の支払い等の手続を行い、訓練を受講してください。

※相談内容によっては、少人数からでも受講できるオープンコースのご利用を提案する場合があります。

独立行政法人
高齢・障害・求職者
雇用支援機構

ポリテクセンター青森
（青森職業能力開発促進センター）
生産性センター業務課

青森県青森市中央３丁目２０番２号
TEL：017-777-1186　FAX：017-777-1187
Mail：aomori-seisan@jeed.go.jp

(2024.12)

生産性向上支援訓練

DX 対応コース一覧　全 60 コース（2025 年 4 月現在）

DX 推進に向けたスタートコース　4 コース

119 DX の推進　117 DX の導入　126 DX 人材育成の進め方　129 製造分野における DX 推進

ネットワーク・セキュリティに関するコース　8 コース

021 IoT 導入に係る情報セキュリティ
057 ネット炎上時のトラブル対応
099 社内ネットワークに役立つ管理手法
116 情報漏えいの原因と対応・対策
040 e ビジネスにおけるリーガルリスク
098 ワイヤレス環境に必要となる無線 LAN セキュリティ
115 脅威情報とセキュリティ対策
125 テレワークに対応したセキュリティ対策

	デジタル化と新しい生活様式の課題への対応 19 コース	業務プロセスの課題への対応 22 コース	ビジネスモデルの課題への対応 7 コース
生産・業務プロセスの改善	009 POS システムの活用技術 056 IT ツールを活用した業務改善 091 企業内で IT 活用を推進するために必要な技術理解 092 企業内で IT 活用を推進するために必要なマネジメント 095 ビッグデータ活用 055 RPA を活用した業務効率化・コスト削減 096 RPA 活用 083 テレワークを活用した業務効率化 088 テレワーク活用 120 データサイエンス入門 130 経理業務の効率化につながる DX の実践	007 在庫管理システムの導入 016 物流の IT 化 013 流通システム設計 014 物流システム設計 012 卸売業・サービス業の販売戦略 018 クラウド活用入門 020 クラウドを活用したシステム導入 054 クラウドを活用した情報共有能力の拡充 093 IT 新技術による業務改善 094 AI（人工知能）活用 090 失敗しない社内システム導入 087 導入コストを抑えるクラウド会計・モバイル POS レジ活用	015 3PL と SCM 017 SCM の現状と将来展望 019 IoT 活用によるビジネス展開 089 データ活用で進める業務連携 118 ベンダーマネジメント力の向上
課題横断的	122 テレワーク業務における労務管理		022 IoT を活用したビジネスモデル 121 ビジネスと SDGs（持続可能な開発目標）の融合
売上げ増加	123 オンライン営業技術	027 マーケティング志向の営業活動の分析と改善 028 統計データ解析とコンセプトメイキング 046 インターネットマーケティングの活用 036 プロモーションとチャネル戦略 047 チャンスをつかむインターネットビジネス 029 顧客分析手法 045 顧客満足度向上のための CS 調査とデータ分析	
IT 業務改善	103 効率よく分析するためのデータ集計 104 ピボットテーブルを活用したデータ分析 105 品質管理に役立つグラフ活用 106 表計算ソフトを活用した統計データ解析 114 SNS を活用した情報発信 124 オンラインプレゼンテーション技術	108 データベースを活用したデータ処理（基本編） 109 データベースを活用したデータ処理（応用編） 110 データベースを活用した高度なデータ処理	

(2024.1.Ver17)



施設利用のご案内

事業主や事業主団体の皆様が、従業員の方の職業訓練や人材育成を目的とした研修の会場を必要とされる場合に、教室、実習場といった研修場所や機械設備等を利用できます。

1 予約状況の確認
利用を希望する施設にお電話にて予約状況をご確認ください。

2 申込書の提出
利用する施設のホームページより「施設設備使用申請書」をダウンロードいただき、FAX またはメールにてご提出ください。

3 使用の承諾
申請書の確認・審査後「施設設備使用承諾通知書」等を送付いたします。

4 使用料の納入
送付書類に記載の期日までに送付書類に記載の口座に払込みください。
なお、申請の変更・取消を行う場合は、使用開始日の 1 週間前までにご連絡ください。

注意点

- 使用開始 1 週間前以後の変更・取消については、使用料全額を申し受けます。
- 承認された利用目的以外での利用はできません。
- 施設設備等を破損、または、消失した場合は、その損害を賠償していただきます。
- ご利用中の一切の事故については、責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 勧誘・営業活動等のための利用はできません。
- その他、ご不明な点はお問い合わせください。

講師派遣のご案内

事業主や事業主団体の皆さまが実施する社員教育や研修等の内容に応じ、訓練指導のノウハウを持った専門の職業訓練指導員を講師として派遣・紹介しています。
訓練内容についても、幅広い分野に対応することができ、施設での実施だけでなく、事業所へ出向いての実施も可能です。
詳細は派遣を希望される施設へお問い合わせください。



注意点

- 承認された利用目的以外ではご利用いただけません。
- 講師派遣の費用については、職業訓練指導員 1 人 1 時間当たり 5,000 円（税込）です。
- 事業所へ出向いて実施する場合は交通費などの実費がかかります。
- 勧誘・営業活動などのためにはご利用いただけません。

よくあるご質問

Q1 受講の申し込みはどのようにしたらよいですか？

A1 本ガイド p.57 の「受講申込書」をコピーしてお要事項を記入の上、メールまたは FAX にてお申込ください。
「受講申込書」はホームページからもダウンロードできます。
受講までの流れについては p.3 の「能力開発セミナーのお申込みから受講まで」をご確認ください。

【青森職業能力開発促進センター】
E-mail：aomori-poly03@jeed.go.jp
FAX：017-777-1187

【青森職業能力開発短期大学校】
E-mail：aomori-college03@jeed.go.jp
FAX：017-3-3203

Q2 セミナーに申し込む場合の条件はありますか？

A2 各コースを学ぶ前提となる知識・技能・経験を有する方が対象です。不安な場合はお問合わせください。

Q3 受講申込書にはなぜ生年月日を記入する必要があるのですか？

A3 所定の条件を充たした方に修了証を発行しており、そこに記載する必要があるためです。

Q4 セミナーの詳しい内容を確認することはできますか？

A4 実施施設にお問合わせください。より専門的な内容につきましては、担当講師が説明いたします。

Q5 申込後に、受講者を変更することはできますか？

A5 変更可能です。本ガイド p.58 の「受講者変更・取消（キャンセル）届」により、メールまたは FAX で実施施設に届け出てください。

Q6 受講料の支払い方法は？

A6 請求書を受領後、原則として所定の期日（土日・祝日を除く）までに、「請求書」に記載された銀行口座にお振り込みください。振込手数料はお客様負担となります。

Q7 申込をキャンセルするにはどうしたらよいのですか？

A7 まず実施施設へ電話にてご連絡ください。その後、本ガイド p.58 の「受講者変更・取消（キャンセル）届」に必要事項をご記入の上、コース開始日の 7 日前（土日・祝日・12 月 29 日～1 月 3 日を除く）［必着］までに FAX またはメールにてご連絡ください。この日を過ぎた取消や手続きがなされない場合は、受講料を全額ご負担いただくことになります。（ただし、当センターの都合によりやむを得ず中止した場合は、返金させていただきます。）
既に受講料をお振込みいただいている受講申込につきましては、コース開始日の 7 日前（土日・祝日・12 月 29 日～1 月 3 日を除く）までに届出たコースの受講料をご返金いたします。
なお、受講料を振り込んだ際に生じた金融機関への手数料は返金いたしませんので、ご了承ください。
また、コース開始日の 7 日前（土日・祝日・12 月 29 日～1 月 3 日を除く）までに届出がない場合は、受講料の返金はいたしませんので、ご注意ください。

Q8 セミナー会場（教室）へはどう行けばいいのですか？

A8 裏表紙に地図を掲載しています。アクセス等でご不明な点がございましたら、お問い合わせください。
教室については、セミナー当日に会場の施設ロビー掲示板等でご確認ください。

Q9 駐車場はありますか？

A9 セミナー会場においては駐車場がございますので、車でお越しいただくことも可能です。
ただし、駐車場での事故等については、当方では責任を負いかねますのでご了承ください。

Q10 修了証書の交付条件はありますか？

A10 修了証書は、出席時間が訓練時間の 80 %以上かつ 12 時間以上の出席を満たしている場合に交付いたします。

20　年　月　日

能力開発セミナー受講申込書

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構青森支部
青森職業能力開発促進センター所長　殿
青森職業能力開発短期大学校長　　殿

能力開発セミナーについて、訓練内容を確認の上、下記のとおり申し込みます。

申込先	コース番号の最初がＰのコース	コース番号の最初がＣのコース
	青森職業能力開発促進センター FAX 017-777-1187 ✉ aomori-poly03@jeed.go.jp	青森職業能力開発短期大学校 FAX 0173-37-3203 ✉ aomori-college03@jeed.go.jp

●受講申込コース（同じ項目は「同上」「〃」を記入してください）

コース番号	コース名	受講料	開講日	ふりがな 受講者氏名	性別	生年月日（西暦） 修了証書を発行するために必要です	就業状況	訓練に関連する経験・技能等
PD001	冷媒配管の施工と空調機器据付け技術	11,500	9/25.26	あおもり たろう 青森 太郎	☑男 ☐女	1999/1/23	☑正社員 ☐非正規雇用 ☐その他（自営業等）	据付２年目
					☐男 ☐女		☐正社員 ☐非正規雇用 ☐その他（自営業等）	
					☐男 ☐女		☐正社員 ☐非正規雇用 ☐その他（自営業等）	
					☐男 ☐女		☐正社員 ☐非正規雇用 ☐その他（自営業等）	
					☐男 ☐女		☐正社員 ☐非正規雇用 ☐その他（自営業等）	
					☐男 ☐女		☐正社員 ☐非正規雇用 ☐その他（自営業等）	

●記入者情報（個人でのお申し込みの場合、＊印のある欄のみご記入ください。）

申込区分	☐会社からの申込　☐個人での申込　（いずれかにチェックしてください）		
ふりがな		事業所名	※事業所が複数ある場合、所在地の事業所名をご記入ください。
法人名（企業名）			
法人番号		法人番号がない場合は、該当に○印　1. 団体　2. 個人事業主　3. 個人	
所在地 ＊個人の方は住所	〒		
業種	☐A. 農業、林業　☐B. 漁業　☐C. 鉱業、採石業、砂利採取業　☐D. 建設業　☐E. 製造業　☐F. 電気・ガス・熱供給・水道業 ☐G. 情報通信業　☐H. 運輸業、郵便業　☐I. 卸売業、小売業　☐J. 金融業、保険業　☐K. 不動産業、物品賃貸業 ☐L. 学術研究、専門・技術サービス業　☐M. 宿泊業、飲食サービス業　☐N. 生活関連サービス業、娯楽業　☐O. 教育、学習支援業 ☐P. 医療、福祉　☐Q. 複合サービス事業　☐R. サービス業　☐S. 公務　☐T. 分類不能の産業		
従業員数	☐A.1～29　☐B.30～99　☐C.100～299　☐D.300～499　☐E.500～999　☐F.1000～		
担当者及び連絡先	＊ふりがな	所属部署役職	
	＊氏名		
	＊TEL	＊FAX	
	＊E-mail		

（注）訓練内容等のご不明な点、あるいは安全面・健康上においてご不安な点などございましたら、あらかじめご相談ください。

● 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構は個人情報の保護に関する法律」（平成 15 年法律第 57 号）を遵守し、保有個人情報を適切に管理し、個人の権利利益を保護いたします。
● ご記入いただいた個人情報については能力開発セミナーの受講に関する事務処理（各種連絡、修了証書交付、アンケート送付等）及び業務統計、当機構の能力開発セミナーや関連するイベント等のご案内に使用するものであり、それ以外に使用することはありません。

20　年　月　日

能力開発セミナー受講者変更・取消（キャンセル）届

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構青森支部
青森職業能力開発促進センター所長　殿
青森職業能力開発短期大学校長　　殿

能力開発セミナーについて、訓練内容を確認の上、下記のとおり申し込みます。

申込先	コース番号の最初がＰのコース	コース番号の最初がＣのコース
	青森職業能力開発促進センター FAX 017-777-1187 ✉ aomori-poly03@jeed.go.jp	青森職業能力開発短期大学校 FAX 0173-37-3203 ✉ aomori-college03@jeed.go.jp

●受講申込コース（同じ項目は「同上」「〃」を記入してください）

区分	コース番号	コース名	開講日	変更・取消前 受講者氏名	受講料 振込状況	変更の場合のみご記入ください 変更後受講者氏名	性別	生年月日（西暦）
☑変更 ☐取消	PD001	冷媒配管の施工と空調機器据付け技術	9/25	あおもり たろう 青森 太郎	☑未振込 ☐振込済 月　日	あおもり じろう 青森 次郎	☑男 ☐女	1993/12/3
☐変更 ☐取消					☐未振込 ☐振込済 月　日		☐男 ☐女	
☐変更 ☐取消					☐未振込 ☐振込済 月　日		☐男 ☐女	
☐変更 ☐取消					☐未振込 ☐振込済 月　日		☐男 ☐女	
☐変更 ☐取消					☐未振込 ☐振込済 月　日		☐男 ☐女	
☐変更 ☐取消					☐未振込 ☐振込済 月　日		☐男 ☐女	

●記入者情報（個人でのお申し込みの場合、＊印のある欄のみご記入ください。）

申込区分	☐会社からの申込　☐個人での申込　（いずれかにチェックしてください）		
ふりがな		事業所名	※事業所が複数ある場合、所在地の事業所名をご記入ください。
法人名（企業名）			
法人番号		法人番号がない場合は、該当に○印　1. 団体　2. 個人事業主　3. 個人	
所在地 ＊個人の方は住所	〒		
業種	☐A. 農業、林業　☐B. 漁業　☐C. 鉱業、採石業、砂利採取業　☐D. 建設業　☐E. 製造業　☐F. 電気・ガス・熱供給・水道業 ☐G. 情報通信業　☐H. 運輸業、郵便業　☐I. 卸売業、小売業　☐J. 金融業、保険業　☐K. 不動産業、物品賃貸業 ☐L. 学術研究、専門・技術サービス業　☐M. 宿泊業、飲食サービス業　☐N. 生活関連サービス業、娯楽業　☐O. 教育、学習支援業 ☐P. 医療、福祉　☐Q. 複合サービス事業　☐R. サービス業　☐S. 公務　☐T. 分類不能の産業		
従業員数	☐A.1～29　☐B.30～99　☐C.100～299　☐D.300～499　☐E.500～999　☐F.1000～		
担当者及び連絡先	＊ふりがな	所属部署役職	
	＊氏名		
	＊TEL	＊FAX	
	＊E-mail		

（注）訓練内容等のご不明な点、あるいは安全面・健康上においてご不安な点などございましたら、あらかじめご相談ください。

● 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構は個人情報の保護に関する法律」（平成 15 年法律第 57 号）を遵守し、保有個人情報を適切に管理し、個人の権利利益を保護いたします。
● ご記入いただいた個人情報については能力開発セミナーの受講に関する事務処理（各種連絡、修了証書交付、アンケート送付等）及び業務統計、当機構の能力開発セミナーや関連するイベント等のご案内に使用するものであり、それ以外に使用することはありません。